
三菱UFJフィナンシャル・グループ
2006年度決算説明会
【データブック】



MUFG

2007年5月25日

本冊子は再生紙を使用しています

本書には、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下「当社」という）およびそのグループ会社（以下「当グループ」という）に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本書の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述または前提（仮定）は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ありますが、これらに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをご参照下さい。なお、本書における将来情報に関する記述は上記のとおり本書の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

また、本書に記載されている当社ないし当グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

なお、本書の計数は日本会計基準ベースの数値を使用しています。

＜本資料における計数の定義＞



連結

- PL項目 05年下期以降の計数は、三菱UFJフィナンシャル・グループ(連結)
05年上期以前の計数は、三菱東京フィナンシャル・グループ(連結)とUFJホールディングス(連結)の単純合算
- BS項目 06年3月末以降の計数は、三菱UFJフィナンシャル・グループ(連結)
05年9月末以前の計数は、三菱東京フィナンシャル・グループ(連結)とUFJホールディングス(連結)の単純合算

単体合算※

- PL項目 06年上期以降の計数は、三菱東京UFJ銀行(単体)と三菱UFJ信託銀行(単体)の単純合算
05年下期の計数は、三菱東京UFJ銀行(単体)、UFJ銀行(単体、10～12月)、三菱UFJ信託銀行(単体)の単純合算
05年上期以前の計数は、東京三菱銀行(単体)、UFJ銀行(単体)、三菱信託銀行(単体)及びUFJ信託銀行(単体)の単純合算
- BS項目 06年3月末以降の計数は、三菱東京UFJ銀行(単体)と三菱UFJ信託銀行(単体)の単純合算
05年9月末以前の計数は、東京三菱銀行(単体)、UFJ銀行(単体)、三菱信託銀行(単体)及びUFJ信託銀行(単体)の単純合算

商業銀行※

- PL項目 06年上期以降の計数は、三菱東京UFJ銀行(単体)
05年下期の計数は、三菱東京UFJ銀行(単体)、UFJ銀行(単体、10～12月)の単純合算
05年上期以前の計数は、東京三菱銀行(単体)とUFJ銀行(単体)の単純合算
- BS項目 06年3月末以降の計数は、三菱東京UFJ銀行(単体)
05年9月末以前の計数は、東京三菱銀行(単体)とUFJ銀行(単体)の単純合算

信託銀行※

- PL項目 05年下期以降の計数は、三菱UFJ信託銀行(単体)
05年上期以前の計数は、三菱信託銀行(単体)とUFJ信託銀行(単体)の単純合算
- BS項目 06年3月末以降の計数は、三菱UFJ信託銀行(単体)
05年9月末以前の計数は、三菱信託銀行(単体)とUFJ信託銀行(単体)の単純合算

※特に断りのない限り、分離子会社を含まない

余白



目次

2006年度決算の概要

● 損益の状況	6
● 資金利益	10
● 運用・調達	14
● 非資金利益の増減要因	16
● 連単差	18
● 営業費の状況	19
● 臨時損益・特別損益	20
● 資産・負債	21
● 三菱UFJ証券	22
● UnionBanCal Corporation（米国基準）	23
● 三菱UFJニコス	24
● 消費者金融	26
● 三菱UFJリース	27
● 三菱UFJファクター	28
● 資産運用	29
● カブドットコム証券	30

部門別収益の状況

● 部門別収益状況	33
● リテール（粗利益・営業純益）	34
● リテール（運用商品）	35
● リテール（住宅ローン）	36
● リテール（コンシューマーファイナンス）	37
● リテール（相続・不動産関連）	38
● 法人（粗利益・営業純益）	39
● 法人（中小企業ビジネス）	40
● 法人（決済ビジネス）	42
● 法人（投資銀行業務（国内））	43
● 法人（不動産ビジネス）	44

● 法人（アジアビジネス）	45
● 法人（米州ビジネス）	46
● 法人（欧州ビジネス）	47
● 受託財産（粗利益・営業純益）	48
● 受託財産（年金業務）	49
● 受託財産（投信運用業務・投信管理業務）	50
● 受託財産（カストディー業務）	51
● 管理会計基準の変更	52

資産・資本の状況

● 与信関係費用	55
● 金融再生法開示債権	56
● 貸倒引当金・保全の状況	57
● 引当率の推移	58
● 保有有価証券の状況	59
● ヘッジ会計適用分デリバティブの状況	60
● 自己資本比率	61
● 繰延税金資産	62

参考情報

● 財務報告に関する内部統制	65
● 国別与信残高	66
● 主な子会社・関連会社	68
● 株式（普通株・優先株）	69
● 優先出資証券	70
● 株主構成	71
● 2007年度業績予想	72
● 他グループ比較	73
● 店舗網	74

2006年度決算の概要

部門別収益の状況

資産・資本の状況

参考情報

損益の状況 1

【連結】



(単位：億円)

	05年度	06年度	増減
1 連結業務粗利益	36,099	37,266	1,166
2 信託勘定償却前連結業務粗利益	36,109	37,267	1,158
3 資金利益	18,579	19,044	465
4 信託報酬	1,466	1,529	63
5 うち与信関係費用(信託勘定)	▲9	▲1	8
6 役務取引等利益	10,997	11,586	589
7 特定取引利益	1,615	3,150	1,534
8 その他業務利益	3,441	1,955	▲1,485
9 うち国債等債券関係損益	▲294	▲188	106
10 営業費	19,253	20,740	1,487
11 うちのれん償却	—	90	90
12 連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前・信託勘定・のれん償却前)	16,855	16,618	▲237
13 連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	16,855	16,527	▲328
14 一般貸倒引当金繰入額(▲は繰入)	—	—	—
15 連結業務純益(13+5+14)	16,846	16,526	▲320
16 臨時損益(▲は費用)	▲2,513	▲1,955	557
17 与信関係費用	▲2,182	▲1,961	221
18 貸出金償却	▲1,537	▲1,933	▲396
19 個別貸倒引当金繰入額	—	—	—
20 その他の与信関係費用	▲645	▲27	617
21 株式等関係損益	609	1,271	662
22 株式等売却益	1,227	1,697	469
23 株式等売却損	▲261	▲38	223
24 株式等償却	▲357	▲387	▲30
25 持分法による投資損益	202	▲806	▲1,008
26 その他の臨時損益	▲1,142	▲459	682
27 うちのれん償却	▲162	32	195
28 経常利益	14,333	14,570	237

29 特別損益	6,342	516	▲5,826
30 うち償却債権取立益	1,008	1,112	103
31 うち貸倒引当金戻入益	6,089	93	▲5,996
32 うち減損損失	▲437	▲186	250
33 税金等調整前当期純利益	20,675	15,087	▲5,588
34 法人税、住民税及び事業税	1,409	1,150	▲259
35 法人税等調整額	6,453	4,137	▲2,316
36 少数株主利益	993	989	▲4
37 当期純利益	11,817	8,809	▲3,007
38 与信関係費用(▲は費用)(5+14+17+31)	3,897	▲1,869	▲5,766
39 与信関係費用総額+償却債権取立益(▲は費用)(30+38)	4,905	▲756	▲5,662
40 連結子会社数	248	253	5
41 持分法適用会社数	42	48	6

(注) 連結業務純益＝子銀行単体業務純益＋その他連結会社粗利益－その他連結会社営業経費
 －その他連結会社一般貸倒引当金繰入額－のれん(借方)の償却費用－内部取引

損益の状況 2

【単体合算】



(単位：億円)

	05年度	06年度	増減						
1	業務粗利益	25,467	24,280	▲1,187	25	特別損益	7,413	1,292	▲6,121
2	信託勘定償却前業務粗利益	25,476	24,281	▲1,195	26	うち償却債権取立益	889	1,020	130
3	資金利益	15,150	14,120	▲1,029	27	うち貸倒引当金戻入益	6,961	905	▲6,055
4	信託報酬	1,161	1,110	▲50	28	うち減損損失	▲201	▲151	49
5	うち与信関係費用（信託勘定）	▲9	▲1	8	29	税引前当期純利益	19,197	12,421	▲6,776
6	役務取引等利益	5,537	5,665	128	30	法人税、住民税及び事業税	152	158	5
7	特定取引利益	191	1,572	1,380	31	法人税等調整額	6,222	3,453	▲2,769
8	その他業務利益	3,425	1,810	▲1,615	32	当期純利益	12,822	8,809	▲4,012
9	うち国債等債券関係損益	▲158	▲156	1					
10	営業費	12,072	12,540	467	33	与信関係費用総額（▲は費用） ⁽⁵⁺¹²⁺¹⁵⁺²⁷⁾	5,317	▲404	▲5,722
11	業務純益（一般貸倒引当金繰入前、信託勘定償却前）	13,404	11,740	▲1,663	34	与信関係費用総額＋償却債権取立益（▲は費用） ⁽²⁶⁺³³⁾	6,207	615	▲5,592
12	一般貸倒引当金繰入額（▲は繰入）	-	▲17	▲17					
13	業務純益（11+5+12）	13,394	11,722	▲1,672					
14	臨時損益（▲は費用）	▲1,610	▲593	1,017					
15	与信関係費用	▲1,634	▲1,291	343					
16	貸出金償却	▲1,142	▲1,166	▲23					
17	個別貸倒引当金繰入額	-	▲45	▲45					
18	その他の与信関係費用	▲492	▲79	412					
19	株式等関係損益	1,333	1,084	▲248					
20	株式等売却益	1,868	1,531	▲336					
21	株式等売却損	▲125	▲31	93					
22	株式等償却	▲410	▲415	▲5					
23	その他の臨時損益	▲1,309	▲386	922					
24	経常利益	11,784	11,129	▲655					

損益の状況 3

【商業銀行】



(単位：億円)

	05年度	06年度	増減
1 業務粗利益	20,865	19,566	▲1,298
2 国内業務粗利益	13,763	13,649	▲114
3 資金利益	10,636	9,924	▲711
4 役務取引等利益	3,206	3,318	111
5 特定取引利益	▲212	150	363
6 その他業務利益	133	255	122
7 うち国債等債券関係損益	▲56	25	81
8 国際業務粗利益	7,101	5,917	▲1,184
9 資金利益	2,572	1,944	▲627
10 役務取引等利益	938	937	▲1
11 特定取引利益	453	1,251	797
12 その他業務利益	3,136	1,784	▲1,352
13 うち国債等債券関係損益	▲130	▲28	101
14 営業費	9,988	10,569	580
15 人件費	3,409	3,522	112
16 物件費	5,989	6,448	459
17 税金	589	597	8
18 業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	10,877	8,997	▲1,879
19 一般貸倒引当金繰入額（▲は繰入）	-	-	-
20 業務純益（18+19）	10,877	8,997	▲1,879
21 臨時損益（▲は費用）	▲1,519	▲652	867
22 与信関係費用	▲1,306	▲1,293	13
23 貸出金償却	▲1,010	▲1,148	▲137
24 個別貸倒引当金繰入額	-	-	-
25 その他の与信関係費用	▲296	▲144	151
26 株式等関係損益	1,040	938	▲101
27 株式等売却益	1,518	1,297	▲221
28 株式等売却損	▲106	▲12	94
29 株式等償却	▲371	▲345	26
30 その他の臨時損益	▲1,253	▲297	955
31 経常利益	9,357	8,345	▲1,011
32 特別損益	6,770	1,234	▲5,535
33 うち償却債権取立益	794	921	126
34 うち貸倒引当金戻入益	6,166	905	▲5,260
35 うち減損損失	▲180	▲122	57
36 税引前当期純利益	16,127	9,580	▲6,547
37 法人税、住民税及び事業税	177	151	▲25
38 法人税等調整額	4,809	2,735	▲2,073
39 当期純利益	11,140	6,692	▲4,447
40 与信関係費用総額（▲は費用）（19+22+34）	4,859	▲387	▲5,246
41 与信関係費用総額+償却債権取立益（▲は費用）（33+40）	5,654	534	▲5,119

損益の状況 4

【信託銀行】



(単位：億円)

	05年度	06年度	増減
1 業務粗利益	4,602	4,713	111
2 信託勘定償却前業務粗利益	4,611	4,714	103
3 国内業務粗利益	4,280	4,659	378
4 信託報酬	1,161	1,110	▲50
5 信託報酬(信託勘定償却前)	1,170	1,111	▲58
6 貸信・合同信託報酬(信託勘定償却前)	358	145	▲213
7 その他信託報酬	812	966	154
8 与信関係費用(信託勘定)	▲9	▲1	8
9 資金利益	1,663	2,003	340
10 役務取引等利益	1,405	1,412	6
11 特定取引利益	▲110	275	386
12 その他業務利益	160	▲143	▲303
13 うち国債等債券関係損益	34	▲102	▲136
14 国際業務粗利益	321	54	▲267
15 信託報酬	-	0	0
16 資金利益	277	247	▲30
17 役務取引等利益	▲13	▲2	11
18 特定取引利益	61	▲105	▲166
19 その他業務利益	▲3	▲85	▲82
20 うち国債等債券関係損益	▲5	▲50	▲45
21 経費(除く臨時損失分)	2,084	1,971	▲113
22 人件費	730	629	▲101
23 物件費	1,251	1,252	0
24 税金	102	89	▲12
25 業務純益(一般貸倒引当金繰入前、信託勘定償却前)	2,526	2,743	216
26 一般貸倒引当金繰入額(▲は繰入)	-	▲17	▲17
27 業務純益(25+8+26)	2,517	2,724	206
28 臨時損益(▲は費用)	▲90	59	149
29 与信関係費用(銀行勘定)	▲327	1	329
30 貸出金償却	▲131	▲17	113
31 個別貸倒引当金繰入額	-	▲45	▲45
32 特定海外債権引当勘定繰入額	-	-	-
33 その他の与信関係費用	▲196	64	261
34 株式等関係損益	292	145	▲147
35 株式等売却益	350	234	▲115
36 株式等売却損	▲18	▲19	▲0
37 株式等償却	▲38	▲69	▲31
38 その他の臨時損益	▲55	▲88	▲32
39 経常利益	2,427	2,783	356
40 特別損益	642	57	▲585
41 うち償却債権取立益	95	98	3
42 うち貸倒引当金戻入益	795	-	▲795
43 うち統合費用	▲226	-	226
44 うち減損損失	▲21	▲28	▲7
45 税引前当期純利益	3,069	2,840	▲229
46 法人税、住民税及び事業税	▲25	6	31
47 法人税等調整額	1,413	718	▲695
48 当期純利益	1,681	2,116	434
49 与信関係費用総額(▲は費用)(8+26+29+42)	458	▲17	▲475
50 与信関係費用総額+償却債権取立益(▲は費用)(41+49)	553	81	▲472

資金利益 1

【商業銀行】



(国内業務)

(億円)

	05年度	06年度	増減
資金利益	10,636	9,924	▲711
資金運用収益*1	11,665	11,906	241
貸出金	8,775	8,773	▲1
有価証券*1	2,561	2,634	72
預け金	0	0	▲0
金利スワップ受入利息*2	112	8	▲103
その他	216	490	273
資金調達費用	1,028	1,982	953
預金	215	858	643
譲渡性預金	10	107	97
社債等利息	593	596	3
売現先	0	39	38
外部負債*3	214	307	92
その他	▲5	72	77

*1 05年度計数にはUFJエクイティインベストメントの清算配当341億円を含む

*2 金利スワップの受入利息・支払利息のネット金額を計上

*3 コールマネー、売渡手形、借入金合計

資金利益の増減要因

➤貸出金利息：▲1億円

貸出平残：▲2.2兆円、利回り：+5bp

➤預金利息：+643億円

預金平残：▲0.9兆円、利回り：+7bp

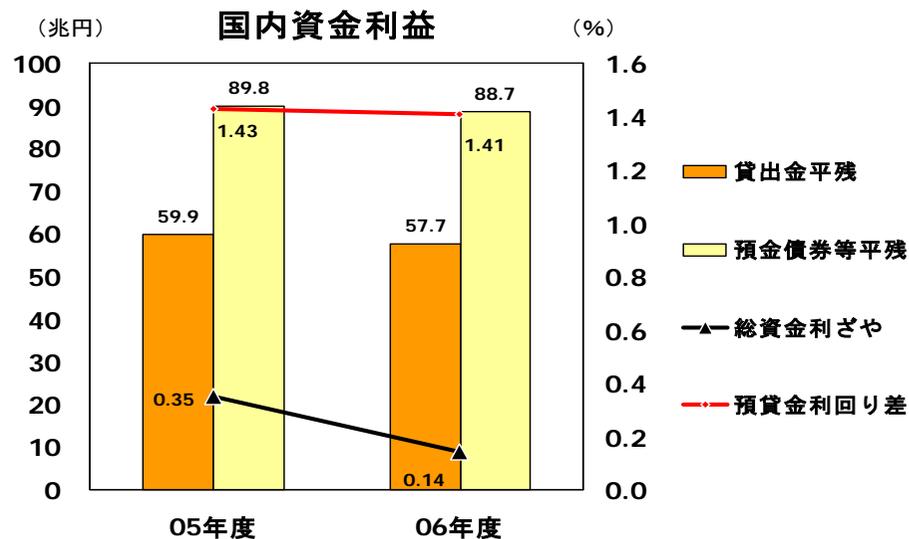
➤有価証券利息・配当金：+72億円

・国債：+469億円（平残▲5.4兆円、利回り+28bp）

・社債：+104億円（平残+0.6兆円、利回り+12bp）

・株式：▲300億円

～05年度には、UFJエクイティインベストメントの清算に伴う配当収入341億円を含む



資金利益 2

【商業銀行】



(国際業務)

(億円)

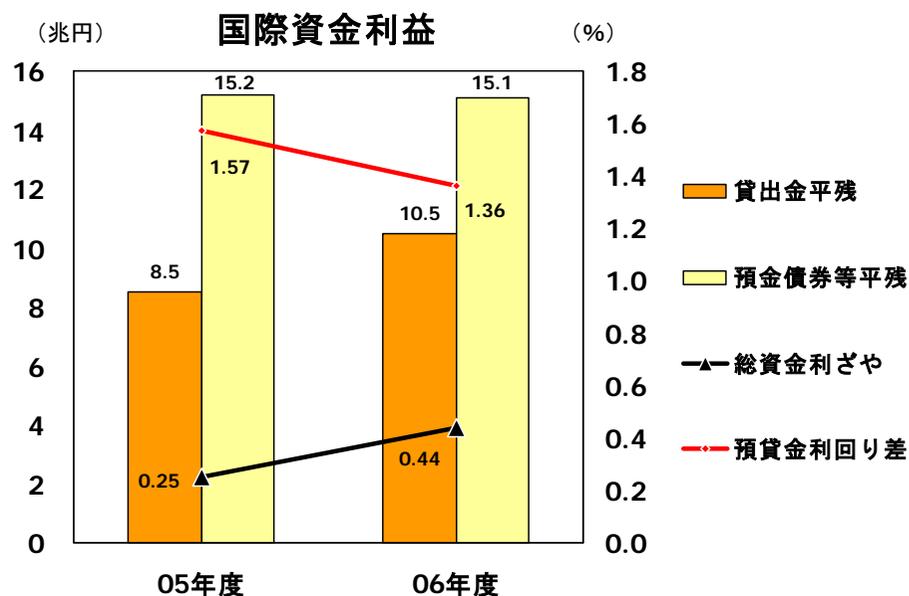
	05年度	06年度	増減
資金利益	2,572	1,944	▲627
資金運用収益	9,725	12,902	3,176
貸出金	3,554	5,409	1,854
有価証券	3,258	3,263	5
預け金	1,459	2,083	623
金利スワップ受入利息*1	315	67	▲247
その他	1,138	2,077	939
資金調達費用	7,152	10,957	3,804
預金	3,574	5,134	1,559
譲渡性預金	395	601	205
社債等利息	176	176	0
売現先	1,013	1,004	▲9
外部負債*2	937	1,488	551
その他	1,055	2,552	1,496

*1 金利スワップの受入利息・支払利息のネット金額を計上

*2 コールマネー、売渡手形、借入金合計

資金利益の増減要因

- 貸出金利息：+1,854億円
 - 貸出平残：+2兆円、利回り：+96bp
- 預金利息：+1,559億円
 - 預金平残：▲0.2兆円、利回り：+116bp
- 有価証券利息・配当金：+5億円
 - 外国証券：+5億円（平残▲0.8兆円、利回り+53bp）



資金利益 3



(国内業務)

(億円)

	05年度	06年度	増減
資金利益	1,663	2,003	340
(うち金利スワップ収支*1)	54	40	▲14
資金運用収益	1,881	2,348	466
貸出金	993	1,155	162
有価証券	782	1,123	341
預け金	0	0	▲0
資金調達費用	218	345	126
預金	140	218	78
譲渡性預金	3	43	39
債券貸借取引支払利息	0	3	3
外部負債*2	30	48	17

*1 金利スワップの受入利息・支払利息のネット金額を計上

*2 コールマネー、売渡手形、借入金合計

資金利益の増減要因

➤ 貸出金利息：+162億円

貸出平残：▲0.5兆円、利回り：+23bp

➤ 預金利息：+78億円

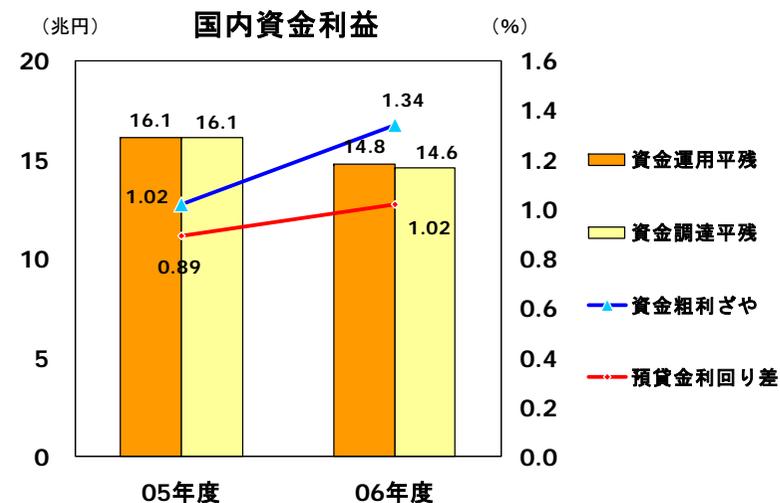
預金平残：▲0.7兆円、利回り：+8bp

➤ 有価証券利息・配当金：+341億円

• 国債：+175億円（平残▲0.1兆円、利回り+76bp）

• 社債：+0億円（平残▲0.1兆円、利回り+33bp）

• 株式：+151億円



資金利益 4

(国際業務)

(億円)

	05年度	06年度	増減
資金利益	277	247	▲30
(うち金利スワップ収支*1)	▲114	▲129	▲15
資金運用収益	1,071	1,150	78
貸出金	166	254	88
有価証券	584	592	8
預け金	219	255	36
資金調達費用	793	902	109
預金	454	454	▲0
譲渡性預金	44	141	97
債券貸借取引支払利息	91	82	▲9
外部負債*2	43	46	2

*1 金利スワップの受入利息・支払利息のネット金額を計上

*2 コールマネー、売渡手形、借入金合計

資金利益の増減要因

➤ 貸出金利息：+88億円

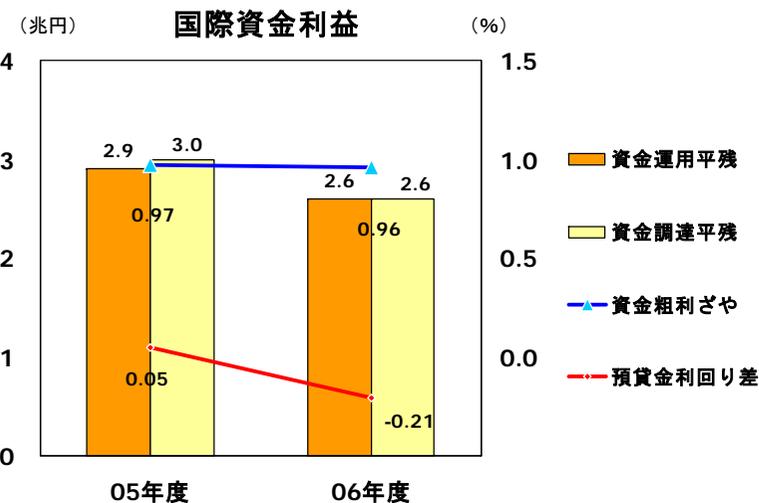
・貸出平残：+0.1兆円、利回り：+81bp

➤ 預金利息：▲0億円

・預金平残：▲0.3兆円、利回り：+93bp

➤ 有価証券利息・配当金：+8億円

・外国証券：+6億円（平残▲0.3兆円、利回り+98bp）



運用・調達 1

【商業銀行】



(単位：億円)

<国内業務部門>	平均残高		収入・費用		利回 (%)	
	06年度	前年比	06年度	前年比	06年度	前年比(%) ^(注)
資金運用勘定	1,031,675	▲ 3,093	11,906	241	1.154	0.019
貸出金	577,330	▲ 22,505	8,773	▲ 1	1.519	0.056
有価証券	329,179	▲ 42,453	2,634	72	0.800	0.111
コールローン	5,210	716	14	13	0.271	0.259
債券貸借取引支払保証金	16,854	▲ 1,566	47	44	0.280	0.263
買入手形	537	▲ 2,027	0	0	0.102	0.101
預け金	30	▲ 22	0	0	0.065	0.009
資金調達勘定	1,013,056	▲ 93,195	1,982	953	0.195	0.102
預金	844,732	▲ 9,085	858	643	0.101	0.076
譲渡性預金	42,563	▲ 1,694	107	97	0.253	0.230
コールマネー	17,108	▲ 11,466	31	30	0.181	0.178
売現先勘定	13,647	▲ 4,961	39	38	0.287	0.282
債券貸借取引受入担保金	23,863	18,308	64	62	0.269	0.247
売渡手形	9,719	▲ 90,706	2	0	0.025	0.023
借入金	26,738	16,275	273	62	1.023	▲ 0.994
ネットインタレストマージン※	-	-	-	-	0.962	▲ 0.072

<国際業務部門>	平均残高		収入・費用		利回 (%)	
	06年度	前年比	06年度	前年比	06年度	前年比(%) ^(注)
資金運用勘定	267,632	28,612	12,902	3,176	4.820	0.752
貸出金	105,238	20,105	5,409	1,854	5.139	0.964
有価証券	67,141	▲ 8,170	3,263	5	4.861	0.535
コールローン	3,506	▲ 1,089	171	4	4.887	1.248
預け金	53,332	6,531	2,083	623	3.907	0.787
資金調達勘定	302,719	54,646	10,957	3,804	3.619	0.736
預金	140,088	▲ 2,826	5,134	1,559	3.665	1.164
譲渡性預金	11,716	1,936	601	205	5.131	1.082
コールマネー	3,188	1,197	163	97	5.112	1.827
売現先勘定	20,722	▲ 8,754	1,004	▲ 9	4.845	1.408
債券貸借取引受入担保金	3,969	▲ 3,460	207	▲ 65	5.236	1.551
売渡手形	-	▲ 1	-	0	-	▲ 4.499
借入金	30,703	7,742	1,325	454	4.318	0.522
ネットインタレストマージン※	-	-	-	-	0.726	▲ 0.349

※ネットインタレストマージン＝ネット資金利益/資金運用勘定平残

運用・調達 2

【信託銀行】



(単位：億円)

<国内業務部門>	平均残高		収入・費用		利回（％）	
	06年度	前年比	06年度	前年比	06年度	前年比(％ [※] 引)
資金運用勘定	148,954	▲ 12,991	2,348	466	1.576	0.414
貸出金	93,016	▲ 5,612	1,155	162	1.242	0.235
有価証券	43,625	▲ 1,091	1,123	341	2.576	0.825
コールローン	972	▲ 4,004	2	1	0.245	0.234
債券貸借取引支払保証金	1,714	419	4	4	0.275	0.262
買入手形	106	▲ 99	0	0	0.103	0.103
預け金	205	▲ 551	0	0	0.063	0.063
資金調達勘定	146,439	▲ 14,716	345	126	0.235	0.100
預金	104,570	▲ 7,685	218	78	0.208	0.083
譲渡性預金	14,236	1,373	43	39	0.304	0.277
コールマネー	1,596	845	6	6	0.412	0.410
売現先勘定	391	▲ 637	1	1	0.385	0.384
債券貸借取引受入担保金	1,380	355	3	3	0.266	0.232
売渡手形	731	▲ 3,500	0	0	0.045	0.042
コマーシャル・ヘッジ	-	▲ 90	-	▲ 0	-	▲ 0.022
借入金	6,536	4,285	41	10	0.630	▲ 0.718
ネットインタレストマージン※	-	-	-	-	1.345	0.317

<国際業務部門>						
	平均残高		収入・費用		利回（％）	
	06年度	前年比	06年度	前年比	06年度	前年比(％ [※] 引)
資金運用勘定	26,339	▲ 3,333	1,150	78	4.366	0.756
貸出金	6,256	1,137	254	88	4.061	0.817
有価証券	13,427	▲ 3,650	592	8	4.413	0.992
コールローン	28	▲ 109	1	▲ 3	4.316	0.769
預け金	6,445	▲ 445	255	36	3.968	0.786
資金調達勘定	26,552	▲ 3,509	902	109	3.398	0.759
預金	11,168	▲ 3,366	454	▲ 0	4.067	0.938
譲渡性預金	2,756	1,652	141	97	5.146	1.134
コールマネー	901	▲ 164	41	13	4.621	1.961
売現先勘定	206	▲ 635	6	▲ 11	3.329	1.151
債券貸借取引受入担保金	2,424	▲ 1,380	82	▲ 9	3.413	1.001
借入金	226	▲ 296	4	▲ 10	1.916	▲ 0.902
ネットインタレストマージン※	-	-	-	-	0.940	0.003

※ネットインタレストマージン＝ネット資金利益/資金運用勘定平残

非資金利益の増減要因 1

【商業銀行】



(億円)

	05年度	06年度	増減
役務取引等利益	4,145	4,255	109
為替手数料	1,458	1,395	▲63
受入為替手数料	1,820	1,742	▲78
支払為替手数料	361	347	▲14
その他手数料	2,686	2,860	173
その他受入手数料	3,825	3,763	▲62
その他支払手数料等	1,138	903	▲235
特定取引利益	241	1,401	1,160
商品有価証券利益	▲60	34	95
特定取引有価証券利益	▲6	4	11
特定金融派生商品利益	284	1,250	965
その他の特定取引利益	24	113	88
その他業務利益	3,269	2,039	▲1,229
外国為替売買益	3,255	2,043	▲1,212
債券関係損益（5 勘定戻）	▲187	▲3	183
金融派生商品利益	19	▲391	▲410
その他	182	391	208

【役務取引等利益】

- 投信販売手数料やストラクチャードファイナンス手数料の増加を主因として、前年比+109億円

【特定取引利益・その他業務利益】

- 長期金利の低下に伴い、国債等債券関係損益が改善、一方で、債券先物等のヘッジ損益の悪化により、金融派生商品利益は減少
07/3末 国内債券含み損益 ▲768億円
- 特定金融派生商品利益増加、外国為替売買益（その他業務利益）減少の一部は、為替変動に起因する科目間の入り繰り

非資金利益の増減要因 2

【信託銀行】



(億円)

	05年度	06年度	増減
信託報酬	1,161	1,110	▲50
貸付信託・合同信託報酬	349	143	▲205
(同 信託勘定償却前) *1	358	145	▲213
年金信託、投資信託、特金、指定単等	666	804	138
不動産管理処分信託等	87	111	23
その他	58	50	▲7
信託勘定与信関係費用	▲9	▲1	8
役務取引等利益	1,391	1,410	18
証券代行	507	495	▲11
不動産	430	441	11
投信・個人年金保険販売	373	367	▲5
その他	80	105	24
特定取引利益	▲49	170	219
その他業務利益	156	▲229	▲385
外国為替売買益	17	19	1
債券関係損益 (5 勘定戻)	29	▲153	▲182
金融派生商品利益	94	▲96	▲190
その他	15	1	▲13

*1 貸付信託・合同信託報酬－信託勘定与信関係費用

【信託報酬】

- 「貸付信託・合同信託報酬」は、元本減少を主因として▲205億円
- 「年金信託、投資信託、特金、指定単等」の受託財産業務に係る信託報酬は、年金・投信での受託増加や未収信託報酬の計上を開始したことを主因に+138億円

【役務取引等利益】

- 「証券代行」は、名義書換事務等の減少を主因に▲11億円
- 「不動産」は、仲介手数料等の増加を主因に+11億円
- 「その他」は資産流動化に伴う手数料の増加等を主因に+24億円

連単差



● 業務粗利益の連結単体差は約1.3兆円（連単倍率約1.5倍）

（億円）

	連結	単体合算	連単差*1	連単差*1		
				うちMUS*	うちUNBC	うちUFJニコス
業務粗利益(信託勘定償却前)	37,267	24,281	12,986	2,486	3,219	3,522
うち資金利益①	19,044	14,120	4,923	▲ 49	2,202	2,064
うち役務取引等利益②	11,586	5,665	5,920	995	705	1,458
持分法による投資損益③	▲ 806	—	▲ 806	—	—	—

*1 連単差の各社計数は連結調整後概算値

*三菱UFJ証券

<その他の主な連単差要因>

（億円）

① 資金利益 *2	② 役務取引等利益 *2	③ 持分法による投資損益 *3
泉州銀行 : 327	ディーシーカード : 740	中京銀行 : 25
ディーシーカード : 148	三菱UFJ投信 : 520	ダイヤモンドリース : 22
BTMUトラスト : 138	国際投信投資顧問 : 405	UFJセントラルリース : 22
カブダミ 三菱東京UFJ銀行 : 59	三菱UFJ住宅ローン保証 : 171	カブドットコム証券 : 15
カブダミ 三菱東京UFJ銀行 : 57	三菱UFJ不動産販売 : 142	三菱UFJメルリッチPB証券 : 15
		アコム : ▲950

*2 連結調整後概算値

*3 各社当期純利益の持分相当分に連結調整を加えたもの（各社決算計数とは異なる）

営業費の状況

【連結】



		(億円)			
		05年度	06年度	増減	
					増減率
1	連結経費	19,253	20,740	1,487	7.7%
2	三菱東京UFJ銀行(単体) ^{*1}	9,988	10,569	580	5.8%
	経費率	47.8%	54.0%	+6.1ポイント	—
3	三菱UFJ信託銀行(単体) ^{*1}	2,084	1,971	▲113	▲5.4%
	経費率 ^{*2}	45.2%	41.8%	▲3.3ポイント	—
4	(単体合算)	12,072	12,540	467	3.8%
5	うち人件費	4,140	4,151	11	0.2%
6	うち物件費	7,240	7,701	460	6.3%
7	うち減価償却費	1,346	1,731	384	28.5%
8	うち預金保険料	840	843	3	0.3%
9	三菱UFJ証券	1,840	1,837	▲3	▲0.1%
10	UNBC	2,005	2,037	32	1.6%
11	UFJニコス	1,307	1,995	687	52.5%
12	その他子会社等	2,026	2,329	302	14.9%

*1 除く分離子会社

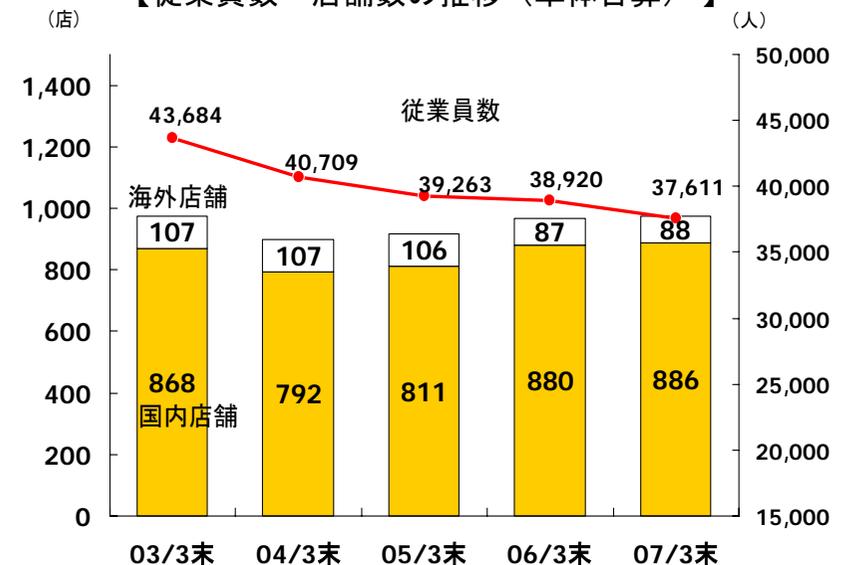
*2 経費÷粗利益(信託勘定償却前)

06年度のポイント

●06年度の営業費は、前年比+1,487億円増加
(経費率は、前年同期比+2.3ポイントの55.7%)

- ▶子会社経費の増加
 - ・UFJニコス、日本マスタートラスト信託銀行等の新規連結化に伴う増加
- ▶銀行における営業費増加(単体合算+467億円)
 - ・物件費の増加は、統合に係わる投資増に伴う減価償却費の増加やシステム関係費用の増加が主な要因

【従業員数・店舗数の推移(単体合算)】



臨時損益・特別損益

【単体合算】



(億円)

	05年度	06年度	
			増減
臨時損益	▲1,610	▲593	1,017
与信関係費用	▲1,634	▲1,291	343
貸出金償却	▲1,142	▲1,166	▲23
個別貸倒引当金繰入額	-	▲45	▲45
その他の与信関係費用	▲492	▲79	412
株式等関係損益	1,333	1,084	▲248
株式等売却益	1,868	1,531	▲336
株式等売却損	▲125	▲31	93
株式等償却	▲410	▲415	▲5
その他の臨時損益	▲1,309	▲386	922

特別損益	7,413	1,292	▲6,121
うち償却債権取立益	889	1,020	130
うち貸倒引当金戻入益	6,961	905	▲6,055
うち減損損失	▲201	▲151	49

【臨時損益】

- 株式等関係損益 1,084億円（前年比▲248億円）
～株式等売却益の減少等により悪化

<ご参考>

07/3末の国内株式含み益（単体合算）

28,826億円

- その他の臨時損益は、退職給付関係費用の減少等により前年比+922億円

【特別損益】

- 貸倒引当金戻入益905億円
～前期に多額に計上された貸倒引当金の戻入金が減少したことにより、前年比▲6,055億円
- 償却債権取立益 1,020億円

資産・負債

【単体合算】



(億円)

	06/3末			07/3末			増減		
		商業銀行	信託銀行		商業銀行	信託銀行		商業銀行	信託銀行
資産	1,657,791	1,470,912	186,878	1,598,573	1,406,138	192,434	▲ 59,218	▲ 64,774	5,555
貸出金	799,785	695,871	103,913	780,854	681,949	98,904	▲ 18,931	▲ 13,922	▲ 5,009
国内貸出	713,726	612,367	101,358	679,544	583,584	95,959	▲ 34,181	▲ 28,782	▲ 5,399
中小企業等貸出	446,529	401,313	45,216	438,049	389,117	48,931	▲ 8,480	▲ 12,196	3,715
消費者ローン残高	194,381	183,747	10,633	182,362	171,633	10,729	▲ 12,018	▲ 12,114	95
住宅ローン残高	181,457	171,137	10,319	170,986	160,518	10,467	▲ 10,470	▲ 10,618	147
海外店・オフショア	86,059	83,504	2,555	101,310	98,364	2,945	15,250	14,860	390
有価証券	479,507	421,596	57,910	475,420	407,057	68,362	▲ 4,087	▲ 14,539	10,451
株式	87,927	70,812	17,114	88,954	72,659	16,294	1,026	1,846	▲ 820
国債	247,970	229,167	18,803	225,151	197,434	27,717	▲ 22,819	▲ 31,733	8,913
その他	143,609	121,616	21,992	161,314	136,963	24,350	17,705	15,346	2,358
負債	1,576,383	1,404,857	171,526	1,511,480	1,335,919	175,560	▲ 64,903	▲ 68,937	4,033
預金	1,129,818	1,010,925	118,893	1,120,413	1,002,766	117,646	▲ 9,405	▲ 8,158	▲ 1,246
国内店預金	1,029,372	917,803	111,569	1,016,985	907,612	109,373	▲ 12,386	▲ 10,191	▲ 2,195
個人預金	602,178	520,516	81,661	608,583	526,617	81,966	6,405	6,100	304
法人預金その他	427,194	397,287	29,907	408,402	380,995	27,406	▲ 18,792	▲ 16,291	▲ 2,500
海外店預金等	100,445	93,121	7,324	103,427	95,153	8,273	2,981	2,032	949

(注) 信託銀行の資産・負債は銀行勘定のみ(信託勘定含まず)

<別掲>

(億円)

預金	1,129,818	1,010,925	118,893	1,120,413	1,002,766	117,646	▲ 9,405	▲ 8,158	▲ 1,246
国内業務部門	984,239	876,860	107,379	974,738	867,405	107,333	▲ 9,500	▲ 9,454	▲ 45
流動性預金	614,389	590,950	23,439	597,742	574,956	22,786	▲ 16,646	▲ 15,994	▲ 652
定期性預金	355,398	272,186	83,211	369,919	285,801	84,118	14,521	13,614	907
その他の預金	14,451	13,723	728	7,076	6,647	428	▲ 7,375	▲ 7,075	▲ 300
国際業務部門	145,579	134,065	11,514	145,674	135,361	10,313	95	1,296	▲ 1,200
流動性預金	14,922	14,913	8	16,592	16,585	7	1,670	1,671	▲ 1
定期性預金	77,588	70,676	6,911	82,164	74,244	7,919	4,576	3,567	1,008
その他の預金	53,068	48,474	4,593	46,917	44,531	2,386	▲ 6,151	▲ 3,943	▲ 2,207

注1 流動性預金=当座預金+普通預金+貯蓄預金+通知預金

注2 定期性預金=定期預金+定期積金

- 投信関連手数料が増加も、株式市況の影響や販売費・一般管理費の増加に伴い当期純利益は減益

(億円)

	05年度 ^{*1}	06年度	増減
営業収益	3,574	4,355	780
純営業収益 ^{*2}	3,030	2,913	▲ 117
販売費・一般管理費	2,010	2,265	254
営業利益	1,019	648	▲ 371
経常利益	1,081	736	▲ 344
当期純利益	662	444	▲ 218

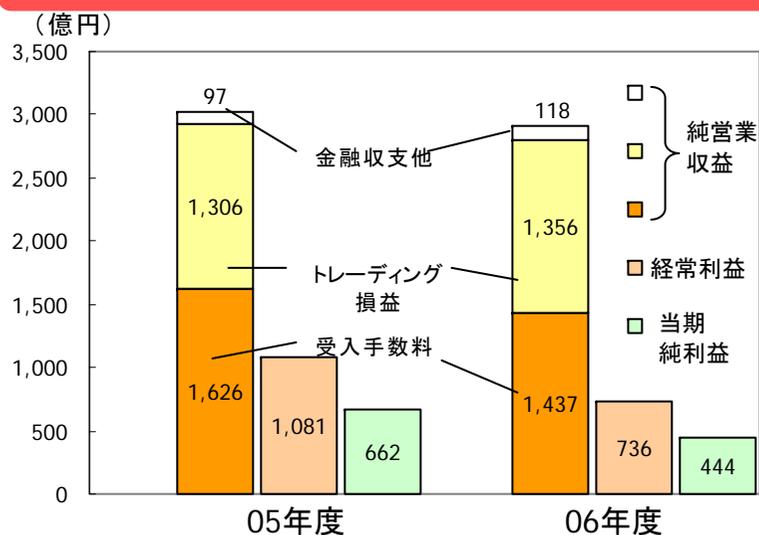
*1 05/4-9の旧三菱証券と旧UFJつばさ証券の連結決算の単純合算計数に05/10-06/3の三菱UFJ証券の連結決算計数を合算

*2 営業収益から金融費用を控除

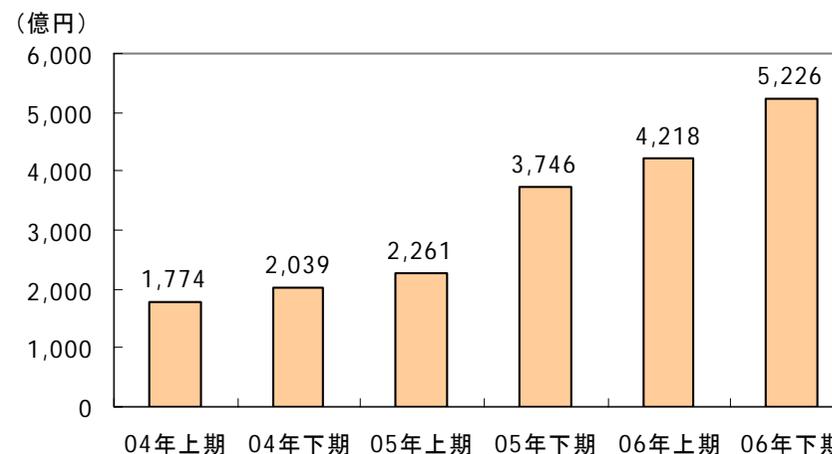
06年度のポイント

- 受入手数料：05年度比 約12%減
 - ・ 株式委託手数料（▲320億円/約38%減）
 - ： 株式市況の影響で減少
 - ・ 募集・売出しの取扱手数料（+66億円/約33%増）
 - ： 預り資産拡大の戦略商品としての投資信託の販売が堅調
 - ・ その他の受入手数料（+77億円/約20%増）
 - ： 投資信託の残高増加に伴い信託報酬が増加
- トレーディング損益は増加：05年度比 約4%増
 - ： 債券等トレーディングにおける対顧取引が順調に推移
- 販売費・一般管理費は増加：05年度比 約13%増
 - ： MUFGグループ内の協働ビジネス拡大等に伴い増加
- 国内営業部門預り資産：07年3月末残高約22.7兆円
 - 06年3末比 約14%増
 - ： 着実に増加

三菱UFJ証券 連結純営業収益と当期純利益の推移



株式投信販売額の推移（リテール）



- 貸出金は順調に増加する一方、無利息預金の減少により資金利鞘は低下
- 資産内容は引続き良好かつ引当も十分な水準

(百万US\$)

	05年	06年	
		増減	
粗利益	2,648	2,723	75
営業費用	1,607	1,686	79
業務純益	1,041	1,037	▲ 4
貸倒引当金繰入額 *1	▲ 51	▲ 5	46
当期純利益 *2	863	753	▲ 110
不稼働資産	62	42	▲ 19

*1 05年の▲51および06年の▲5は戻入益を示す

*2 非継続事業合算後 (05年の非継続事業損益132百万US\$、06年の同損益▲11百万US\$を含む)

06年のポイント

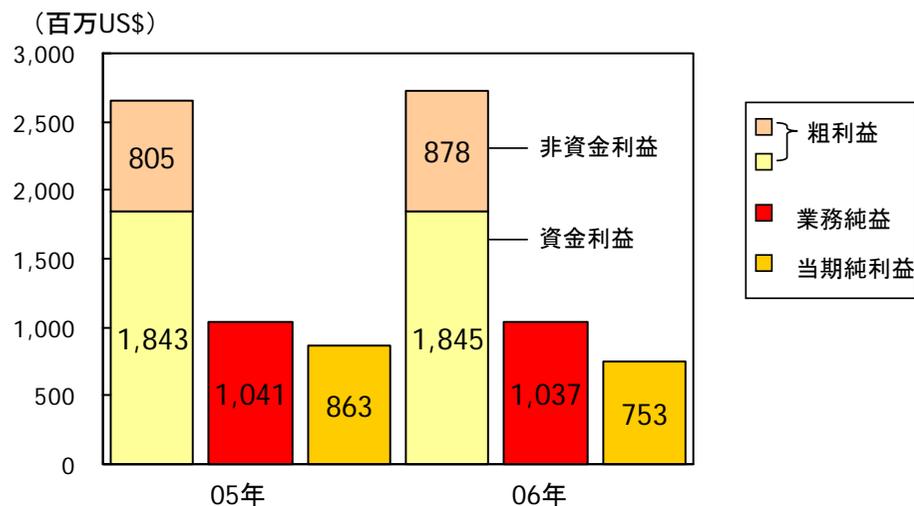
➤ 貸出金は増加、無利息預金は減少

商業貸出残高 : 129億ドル (05年末比+ 13.0%)
 住宅ローン残高 : 123億ドル (05年末比+ 8.5%)
 無利息預金残高 : 171億ドル (05年末比▲12.4%)
 資金利鞘 : 4.09% (05年比▲0.22ポイント)

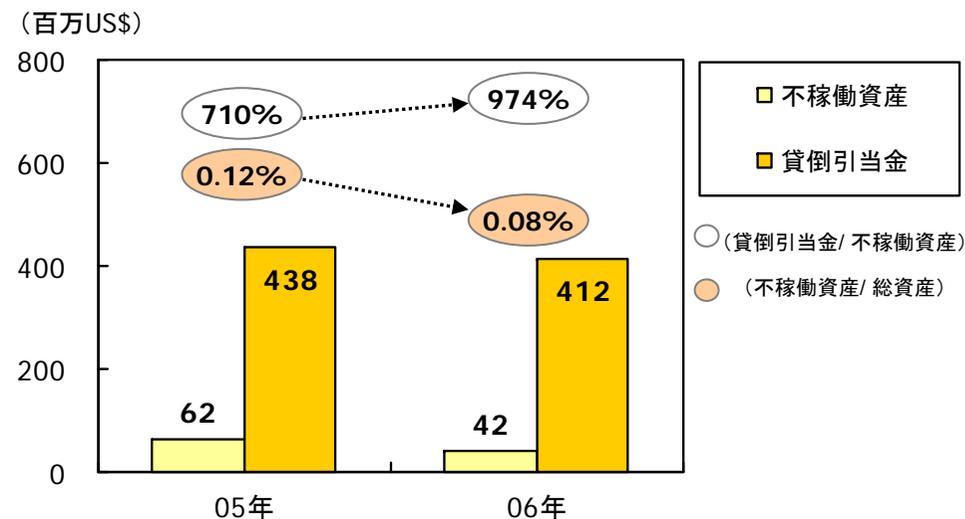
➤ 不稼働資産は引続き減少、引当率も大幅上昇

不稼働資産残高 : 42百万ドル (総資産比0.08%)
 貸倒引当金残高 : 412百万ドル (不稼働資産比974%)

収益の推移



不稼働資産と貸倒引当金の推移



三菱UFJニコス-1 (旧UFJニコス)



● 三菱UFJニコス (旧UFJニコス)

(05/10/1より連結子会社*1：日本信販とUFJカードが05/10/1に合併、その後06/10/1に協同クレジットサービス、07/4/1にDCカードと合併)

	05年度*2	06年度	
			増減
営業収益	3,540	3,676	135
営業費用	2,907	3,488	581
経常利益	648	203	▲444
当期純利益	182	▲521	▲704

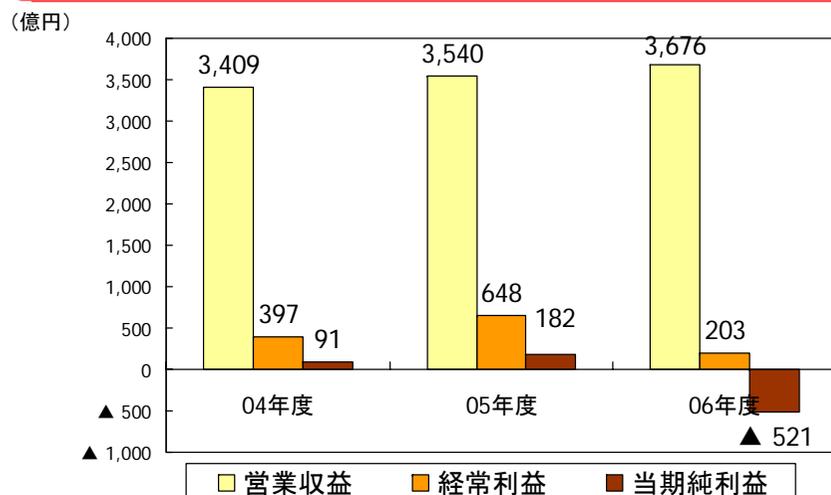
*1 旧UFJカードは従来より連結子会社

*2 05年度計数は、旧UFJニコスと旧UFJカード上半期(4月~9月)の単純合算

06年度のポイント

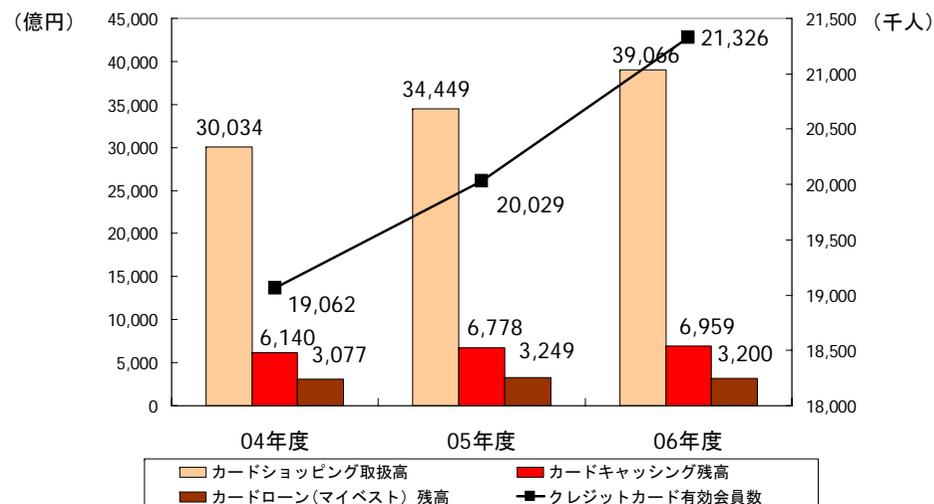
- ▶ 営業収益は前期比+3.8%
 - ✓カードショッピング・カードキャッシング等のカード事業が好調に推移
- ▶ 営業費用は前期比+19.9%
 - ✓貸倒関係費用は前期比+575億円(+77.1%)
- ▶ 当期純利益は、利息返還損失引当金繰入140億円の特損計上、繰延税金資産551億円の取崩し等により▲521億円の赤字

収益の推移



・04年度計数は、旧日本信販と旧UFJカードの単純合算
 ・05年度計数は、旧UFJニコスと旧UFJカード上半期(4月~9月)の単純合算

カードショッピング取扱高・ファイナンス残高/カード有効会員数推移



・04年度計数は、旧日本信販と旧UFJカードの単純合算
 ・05年度計数は、旧UFJニコスと旧UFJカード上半期(4月~9月)の単純合算

三菱UFJニコス-2 (旧DCカード)



● 三菱UFJニコス (旧DCカード) (連結子会社)

(07/4/1にUFJニコスと統合)

(億円)

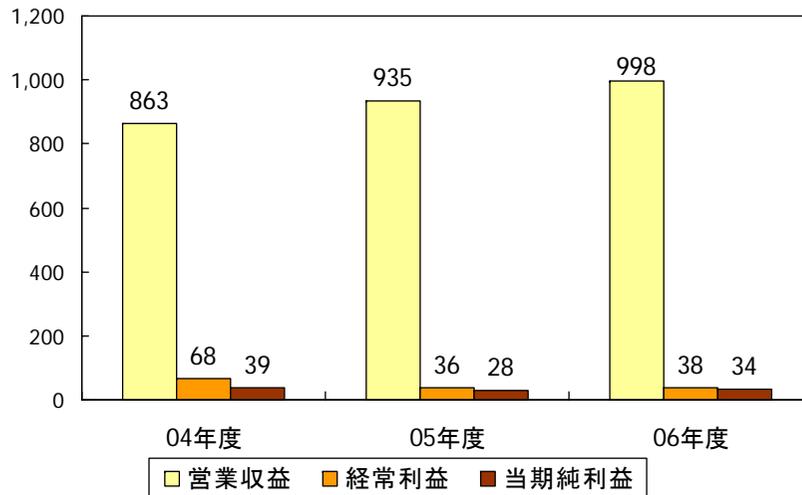
	05年度	06年度	
			増減
営業収益	935	998	62
営業費用	908	980	71
経常利益	36	27	▲8
当期純利益	28	34	5

06年度のポイント

- 営業収益は前期比+6.7%
 - ✓ショッピング取扱高は順調に増加
 - ✓銀行本体発行の受託ビジネスが本格化
- 営業費用は前期比+7.9%
 - ✓貸倒関連費用が貸倒引当金基準を新会社ベースに見直したことにより前年同期比+10億円増加
- 当期純利益は特別利益に有価証券の売却益等を計上したことにより前年同期比+20.5%

収益の推移

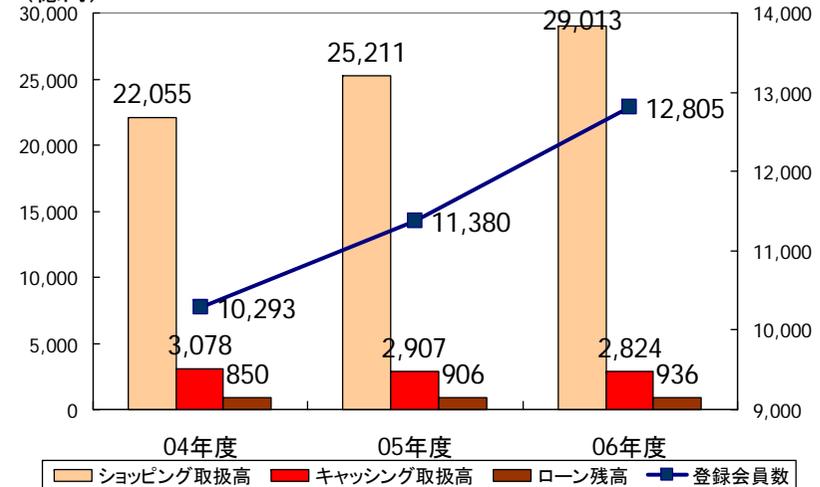
(億円)



取扱高・ローン残高／登録会員数推移

(億円)

(千人)



*取扱高・会員数はDCグループ計数。ローン残高は単体計数。

消費者金融



● アコム（持分法適用会社）

	05年度	06年度	増減
営業収益(億円)	3,966	3,707	▲258
営業貸付金残高*1(億円)	15,421	14,461	▲960
口座数*1(千件)	2,846	2,670	▲176
1口座当たり残高*1(千円)	542	541	▲1

*1 消費者向無担保ローン

● モビット（持分法適用会社）

	05年度	06年度	増減
営業収益(億円)	386	426	40
営業貸付金残高(億円)	2,245	2,378	133
口座数(千件)	294	316	22
1口座当たり残高(千円)	762	750	▲12

● DCキャッシュワン（持分法適用会社）

	05年度	06年度	増減
営業収益(億円)	117	153	36
営業貸付金残高(億円)	741	826	85
口座数(千件)	172	182	10
1口座当たり残高(千円)	431	452	21

06年度のポイント

- 営業収益は前期比▲6.5%
 - ✓ 営業貸付金利息と個品あっせん収益が減収
- 営業貸付金残高は前期比▲960億円の減少
- 1口座当たり残高は前期比微減

06年度のポイント

- 営業収益は前期比+10.3%
- 営業貸付金は前期比+5.9%、口座数も同+7.7%と、いずれも増加

06年度のポイント

- 営業貸付金残高は前期比+11.5%
- 営業収益は前期比+30.8%
- 口座数は前期比+10千件、1口座当たり残高は同+21千円と、いずれも増加

●三菱UFJリース(持分法適用会社: 旧ダイヤモンドリースと旧UFJセントラルリースが07/4/1に合併)

・旧ダイヤモンドリース(持分法適用会社)

(億円)

	05年度	06年度	
			増減
売上総利益	522	567	45
販管費	233	238	4
営業利益	288	329	41
当期純利益	211	220	9

・旧UFJセントラルリース(持分法適用会社)

(億円)

	05年度	06年度	
			増減
売上総利益	377	409	32
販管費	190	188	▲2
営業利益	186	221	34
当期純利益	113	108	▲4

06年度のポイント

- ▶売上総利益は、収益性を重視した営業展開や連結利益の極大化を念頭に置いたグループマネジメントの推進等の結果、前期比8.7%増加
- ▶業容が拡大している一方で、貸倒関係費用が大幅に減少したこと等により、販売費及び一般管理費は前期比1.9%の増加に止まる
- ▶前期は米国現地法人の清算方針決定により、税負担が通常より減少。当期の税負担は通常に戻ったものの、上記利益増加要因に加えて、特別利益に償却債権取立益の計上もあり、当期純利益は前期比4.4%増加の、過去最高益となる220億円を計上

06年度のポイント

- ▶売上総利益は、営業資産の積増しなどが寄与し、前期比8.6%増加
- ▶貸倒引当金の戻入もあり、販売費及び一般管理費が前期比減少したことなどから、営業利益は前期比18.4%増加
- ▶特別損失として、合併に伴いシステムの臨時償却費を計上したことなどから、当期純利益は前期比4.4%減少

三菱UFJファクター



- 三菱UFJファクター（連結子会社：ダイヤモンドファクターとUFJビジネスファイナンスが05/10/1に経営統合）

（億円）

	05年度	06年度	
			増減
営業収益	180	198	18
営業総利益	113	118	5
営業利益	56	52	-4
経常利益	72	54	-18
当期純利益	60	30	-30

06年度のポイント

- ▶ 保証ファクタリング、一括ファクタリングの資産が順調に積み上がった他、決済の取扱件数も増加し、営業収益(売上高)は18億円、営業総利益は5億円の増加
- ▶ 営業利益は52億円、05年度比4億円の減少。05年度合併時の特殊要因(貸倒引当金戻入等による与信費用の大幅な減少)を勘案すると、06年度は実質5億円の増益
- ▶ 経常利益は、05年度の特異要因（受取配当金14億円）がなくなり、18億円の減少
- ▶ 当期利益は上記要因に加え、特別損益の減少6億円（05年度は貸倒引当金戻入益7.9億円を計上）と、税負担の増加6億円により、30億円減少

※上記の計数は前年との比較のため、

- ・05年度計数は、三菱UFJファクターと旧UFJビジネスファイナンス上半期の単純合算の計数を記載。

なお、三菱UFJファクターの05年度決算の計数は、営業収益139億円、営業総利益80億円、営業利益43億円、経常利益44億円、当期純利益36億円。

資産運用



● 三菱UFJ投信（連結子会社：三菱投信とUFJパートナーズ投信が05年10月1日に経営統合）

(億円)	05年度*1	06年度	
			増減
営業収益	398	520	121
営業費用	293	365	72
営業利益	105	155	49
当期純利益	110	94	▲16

*1 05年度は旧三菱投信と旧UFJパートナーズ投信05年上半期の単純合算

06年度のポイント

▶外債や好配当株式で運用する多分配型の公募投資信託や投資型年金保険向け私募投資信託を中心に残高が拡大。投資信託残高合計7.7兆円となり、営業収益・営業利益とも前年比増加

● 国際投信投資顧問（05年10月1日以降連結子会社）

(億円)	05年度	06年度	
			増減
営業収益	654	774	120
営業費用	409	492	83
営業利益	245	281	36
当期純利益	145	172	26

06年度のポイント

▶同社の主力ファンド「グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）」を始めとした投資信託の残高が引き続き拡大。投資信託残高合計は7.1兆円となり、営業収益・営業利益とも前年比増加

● エム・ユー投資顧問（連結子会社：05年10月1日にUFJアセットマネジメントから社名変更）

(億円)	05年度	06年度	
			増減
営業収益	25	27	2
営業費用	19	22	3
営業利益	6	4	▲2
当期純利益	3	3	0

06年度のポイント

▶残高拡大が継続し営業収益は増加したものの、体制強化に伴い人件費等の経費も拡大し、当期利益は前年比ほぼ横ばいの水準

カブドットコム証券



● カブドットコム証券（持分法適用会社※）

（億円）

	05年度	06年度	
			増 減
営業収益	213	209	▲3
販管費	70	87	16
経常利益	126	110	▲16
当期純利益	97	60	▲36

06年度のポイント

- ▶ 営業収益は、前期比▲1%
 - ✓ 個人株式委託市場は前期比▲13%となる中、前期並みの水準に
- ▶ 経常利益は、前期比▲13%
 - ✓ 他社に先駆けての事業継続計画(BCP)構築や初の競売買方式による私設取引所(PTS)事業開始に伴う先行投資が発生したことによる
- ▶ 金融収支は、前期比+56%の大幅増加
 - ✓ 格付取得効果などにより47億円
- ▶ 当期純利益は、前期比▲37%
 - ✓ 05年度にMeネット証券との合併による税効果等があったため大幅減。税効果等を除くと▲13%
- ▶ 預かり資産は、前期比+1%
 - ✓ オンライン専門証券で唯一増加

※連結子会社化の予定

- ・ 07年4月のBTMUによる株式公開買付けにより、MUFGグループの議決権保有比率は40.36%となった。
- ・ 07年6月のカブドットコム証券株主総会において、取締役の過半数をMUFGグループが占めることを通じて、連結子会社化の予定である。
- ・ 連結子会社化によりMUFGグループ各社との更なる連携強化を予定。

余白

2006年度決算の概要

部門別収益の状況

資産・資本の状況

参考情報

部門別収益状況

【連結】



- リテール、法人（海外）、受託財産が伸張、対顧客3部門の営業純益に占める割合は95%に上昇

連結粗利益*1・営業純益*2

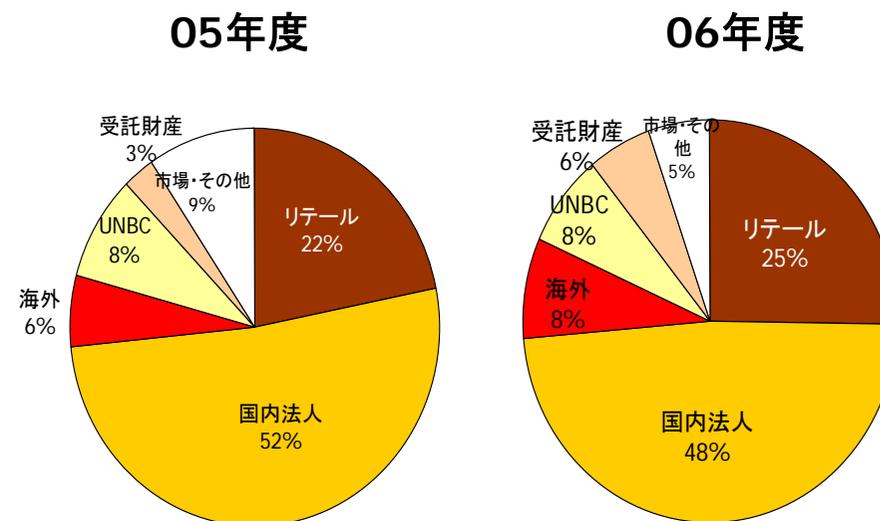
事業ポートフォリオ（営業純益ベース）

(億円)

	05年度		06年度		増減	
		(構成比)		(構成比)		(増減率)
粗利益	37,316	100.0%	37,452	100.0%	136	0.4%
リテール	11,309	30.3%	12,456	33.3%	1,147	10.1%
法人	20,738	55.6%	19,922	53.2%	▲ 817	▲ 3.9%
国内	14,438	38.7%	13,600	36.3%	▲ 837	▲ 5.8%
海外	2,797	7.5%	3,078	8.2%	281	10.0%
UNBC	3,503	9.4%	3,243	8.7%	▲ 260	▲ 7.4%
受託財産	1,438	3.9%	1,978	5.3%	540	37.6%
市場・その他	3,830	10.3%	3,096	8.3%	▲ 734	▲ 19.2%

(億円)

	05年度		06年度		増減	
		(構成比)		(構成比)		(増減率)
営業純益	17,515	100.0%	16,366	100.0%	▲ 1,150	▲ 6.6%
リテール	3,827	21.8%	4,121	25.2%	294	7.7%
法人	11,532	65.8%	10,492	64.1%	▲ 1,040	▲ 9.0%
国内	9,023	51.5%	7,922	48.4%	▲ 1,101	▲ 12.2%
海外	1,029	5.9%	1,336	8.2%	306	29.7%
UNBC	1,480	8.4%	1,235	7.5%	▲ 245	▲ 16.5%
受託財産	518	3.0%	907	5.5%	388	74.9%
市場・その他	1,638	9.4%	846	5.2%	▲ 793	▲ 48.4%



【顧客部門営業純益*3比率】



*1 子会社からの配当金収入を除く内部取引消去前の計数（管理ベース）

*2 連結業務純益の内部取引消去等連結調整前の計数（管理ベース、のれん償却前）

*3 リテール、法人、受託財産の対顧客3部門の営業純益

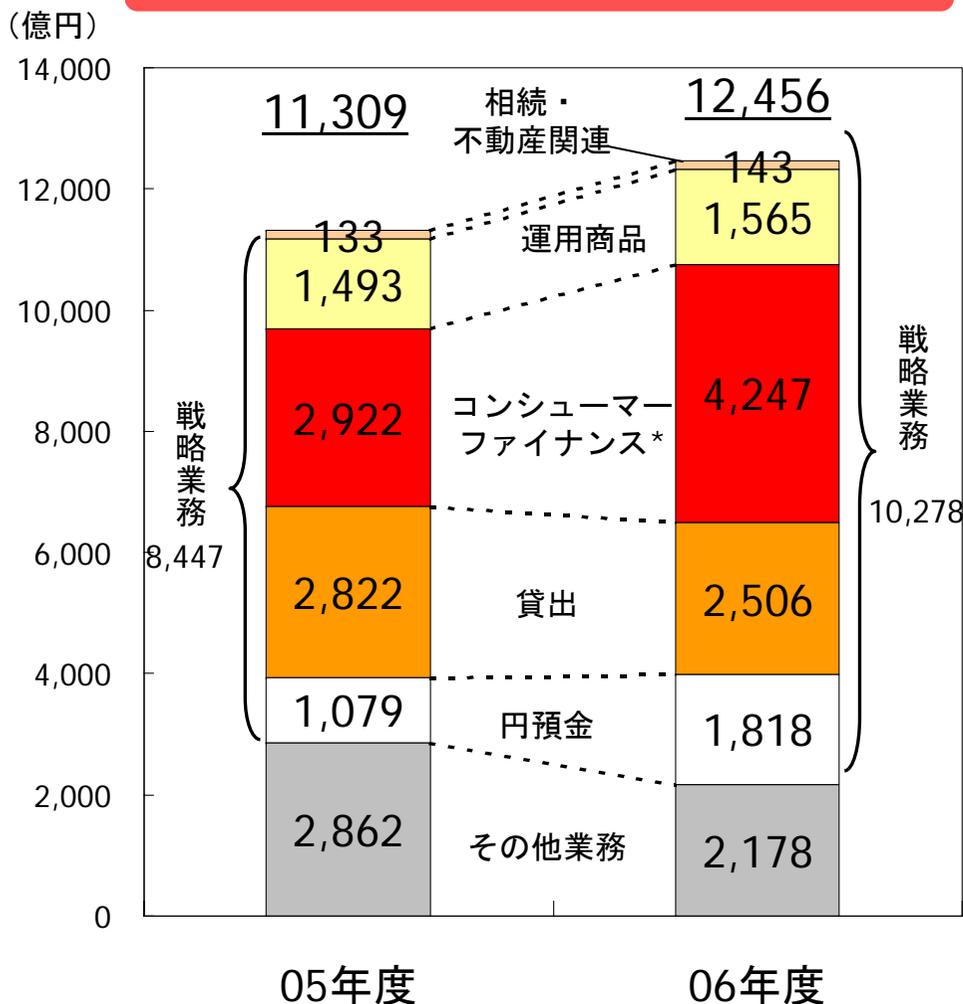
リテール（粗利益・営業純益）

【連結】

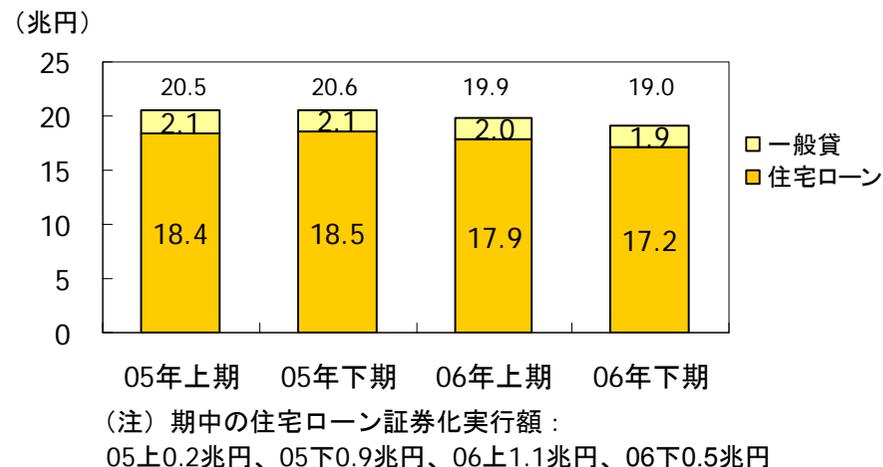


- 運用商品・円預金・消費者金融ファイナンスが好調
- 粗利益は前年度比10.1%、営業純益は同7.7%増加

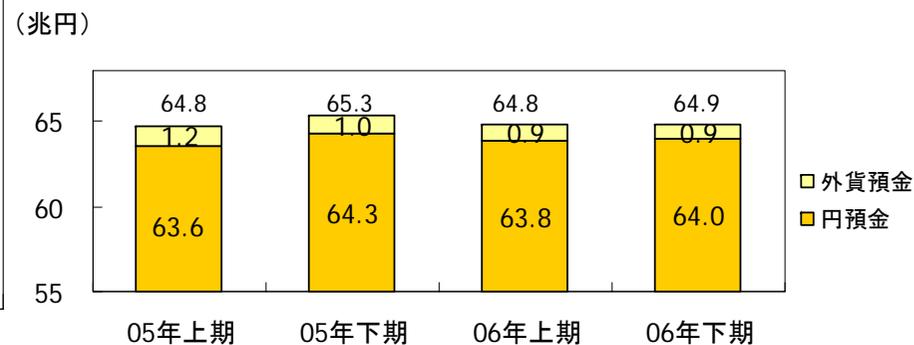
連結粗利益の状況



リテール貸出平残の推移



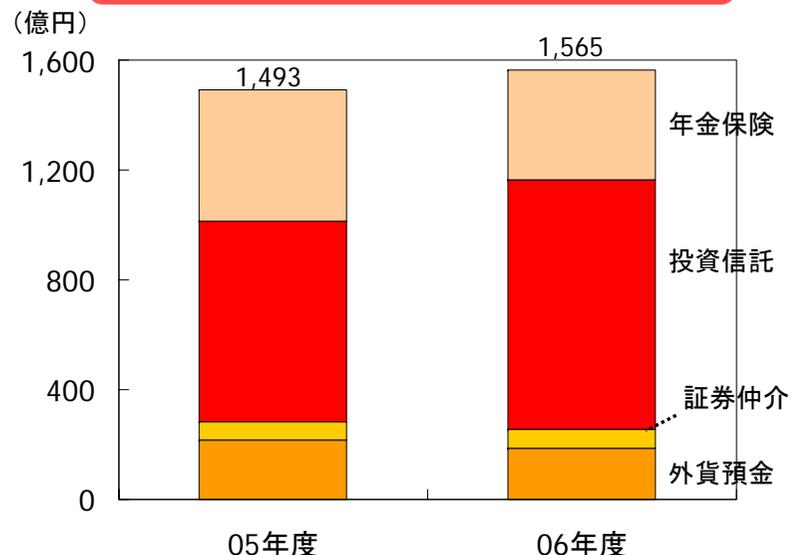
リテール預金平残の推移



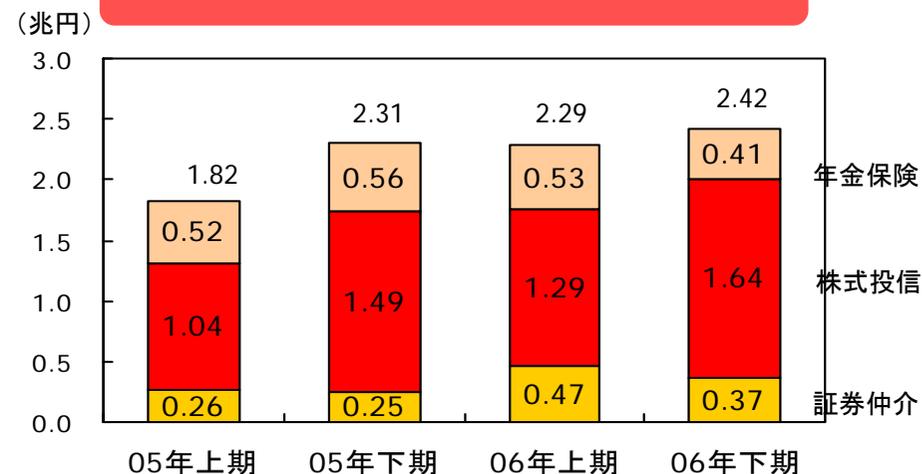
* 06年度は新規連結化要因1,288億円を含む



運用商品収益の推移



運用商品販売額



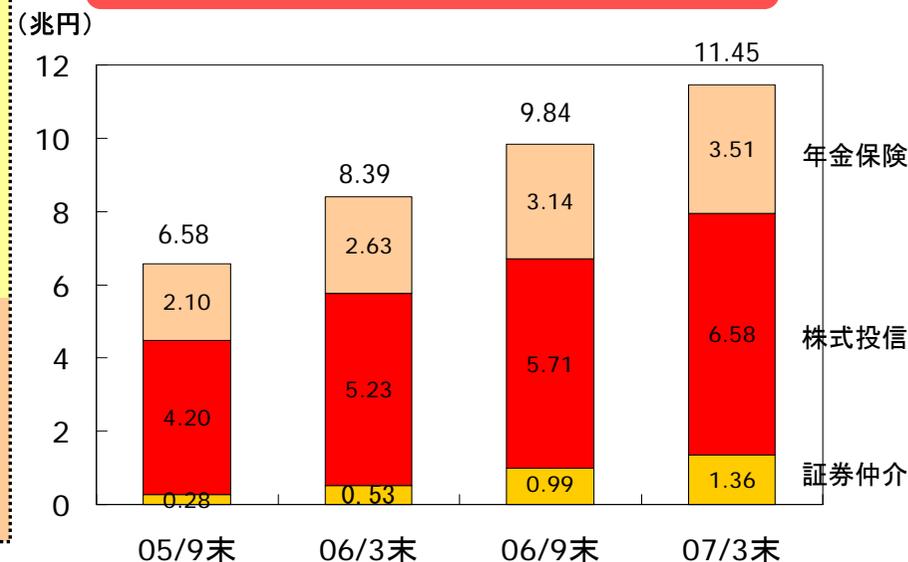
06年度実績：粗利益1,565億円（前年度比+72億円）

- 株式投信、年金保険、証券仲介の販売合計額は前年比14%増の4.7兆円
- 株式投信、年金保険、証券仲介の合計預り残高は、前年度末比36%増加し、11.4兆円に拡大

07年度の取組み：

- 競争力のある新商品を連続投入、マーケティング力強化
- 一人別カリキュラムによる販売人員のスキル向上
- PBO等の店舗チャネル拡充
- 保険全面解禁対応：保険プロ人材の積極的登用

株式投信、年金保険、証券仲介の預り残高



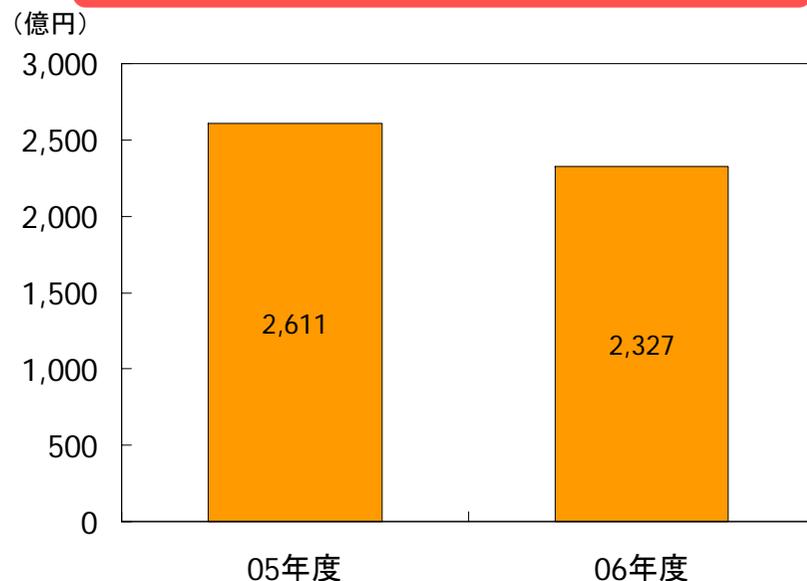
リテール（住宅ローン）

【連結】



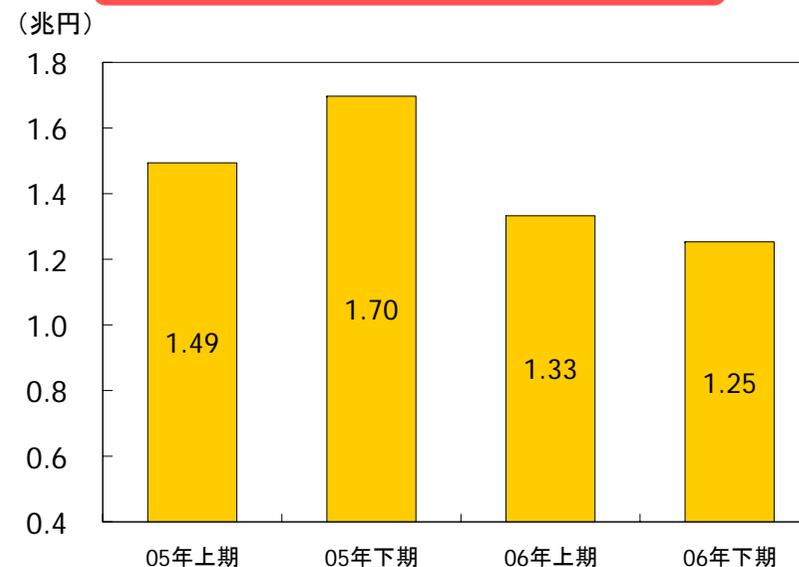
MUFG

住宅ローン収益の推移

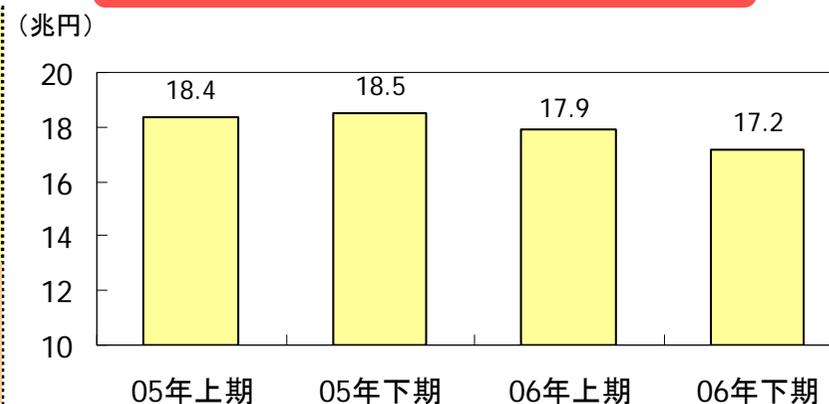


(注) 住宅ローンは、賃貸用不動産建築資金を含む

住宅ローン実行額の推移



住宅ローン平残の推移



(注) 期中の住宅ローン証券化実行額：
05上0.2兆円、05下0.9兆円、06上1.1兆円、06下0.5兆円

06年度実績：粗利益2,327億円（前年度比▲284億円）

- 住宅ローン実行額は住宅の新規販売戸数減少もあり、前年度比▲0.6兆円
- 住宅ローン平残は、証券化の要因もあり前年度比▲0.9兆円

07年度の取組み：

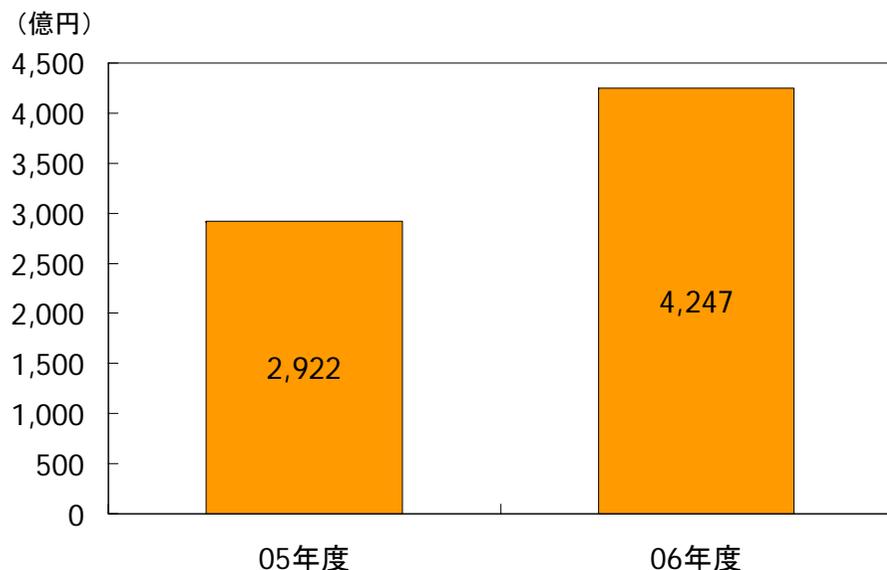
- 少子高齢化・ネット取引拡大を踏まえ、新ビジネス領域を開拓・新商品を投入
- ローンポートフォリオの質の強化、コスト構造の強化を実施

リテール（コンシューマーファイナンス）

【連結】



コンシューマーファイナンス収益*1の推移



*1 クレジットカード収益（三菱UFJニコス）＋本体カードローン等収益

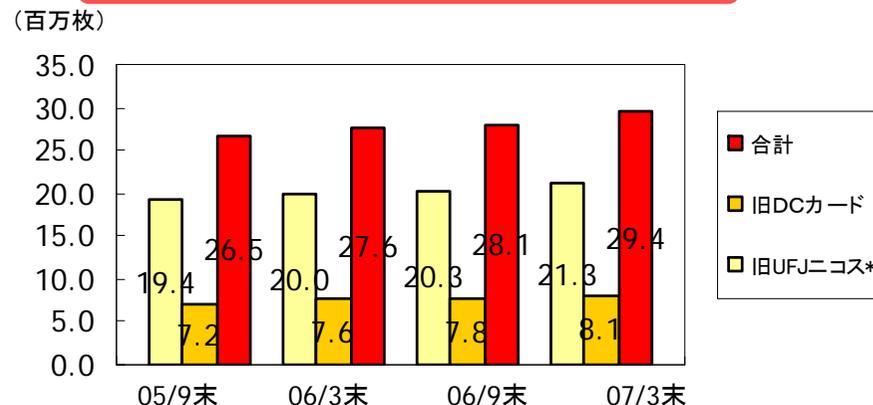
06年度実績：粗利益4,247億円（前年度比+1,325億円）

- 子会社連結化要因1,288億円を含み、粗利益は前年度比45%増加
- グループ会社のカード発行枚数残高も堅調に増加
- 総合カード発行枚数残高は約1,300千枚

07年度の取組み：

- 総合カードの販売チャネル拡充、利用率・利用単価向上策の実施、商品性のレベルアップ
- 三菱UFJニコスの統合効果の早期実現
- 新型カードローン投入予定

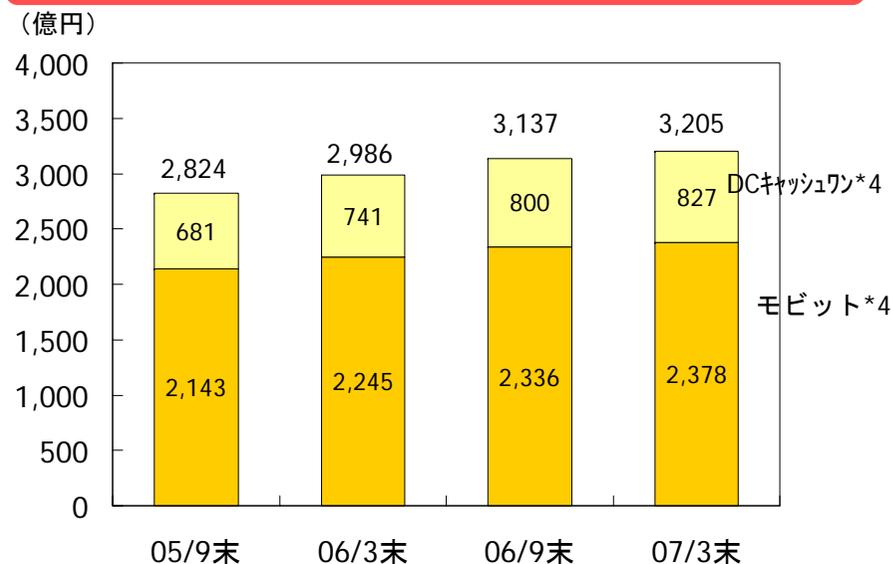
グループ会社クレジットカード発行枚数*2



*2 旧DCカードは単体ベースかつ会員数

*3 05/9以前は旧日本信販と旧UFJカードの合算値

モビット・DCキャッシング営業貸付金残高



*4 出資比率 DCキャッシング：30% (BTMU)、15% (MUTB)
モビット：50% (BTMU)

リテール（相続・不動産関連）

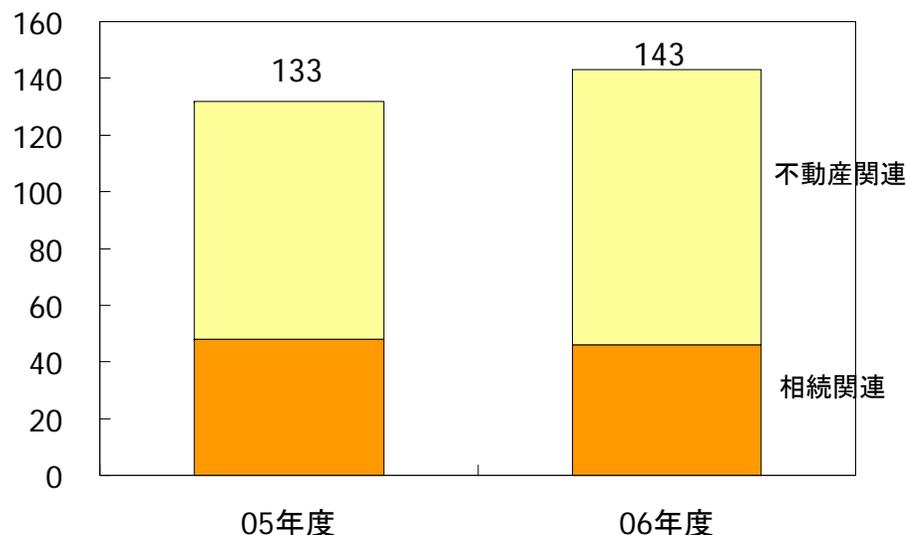
【連結】



MUFG

相続・不動産関連収益の推移

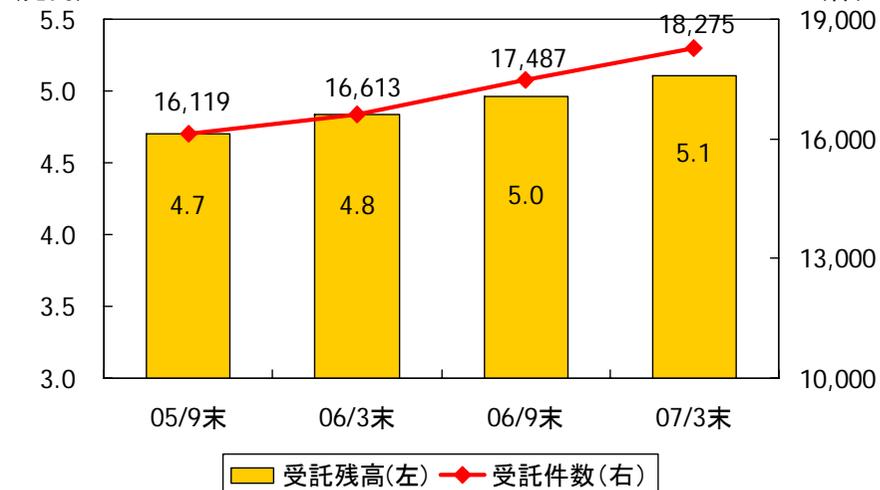
(億円)



執行付遺言信託の受託残高・件数

(兆円)

(件)



06年度実績：粗利益143億円（前年度比+10億円）

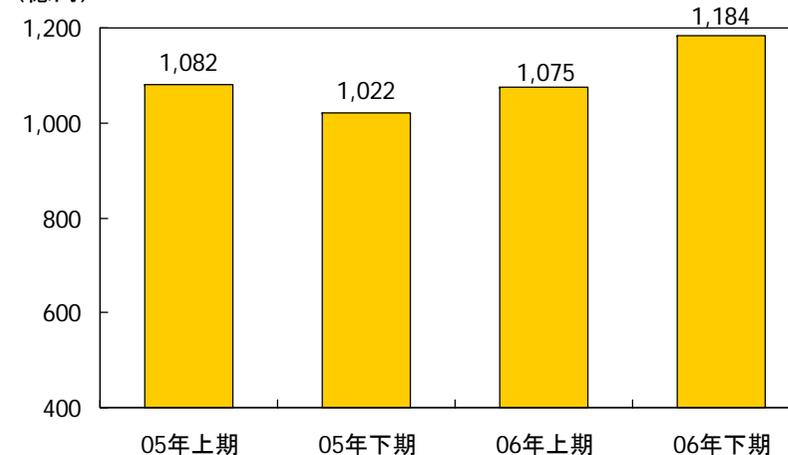
- 執行付遺言信託は受託件数、受託残高ともに堅調増加
- 不動産は、市場の好調とグループ内協働により、取扱高は前年度比7%増の2,260億円、手数料収入は前年度比15%増加

07年度の取組み：

- 信託から銀行へのプロ人材出向による相続関連業務に係る情報発掘機能の強化等、新たな銀信協働体制の定着化

不動産取扱高*1の推移

(億円)



*1 三菱UFJ不動産販売のうちリテール部門のみの取扱高

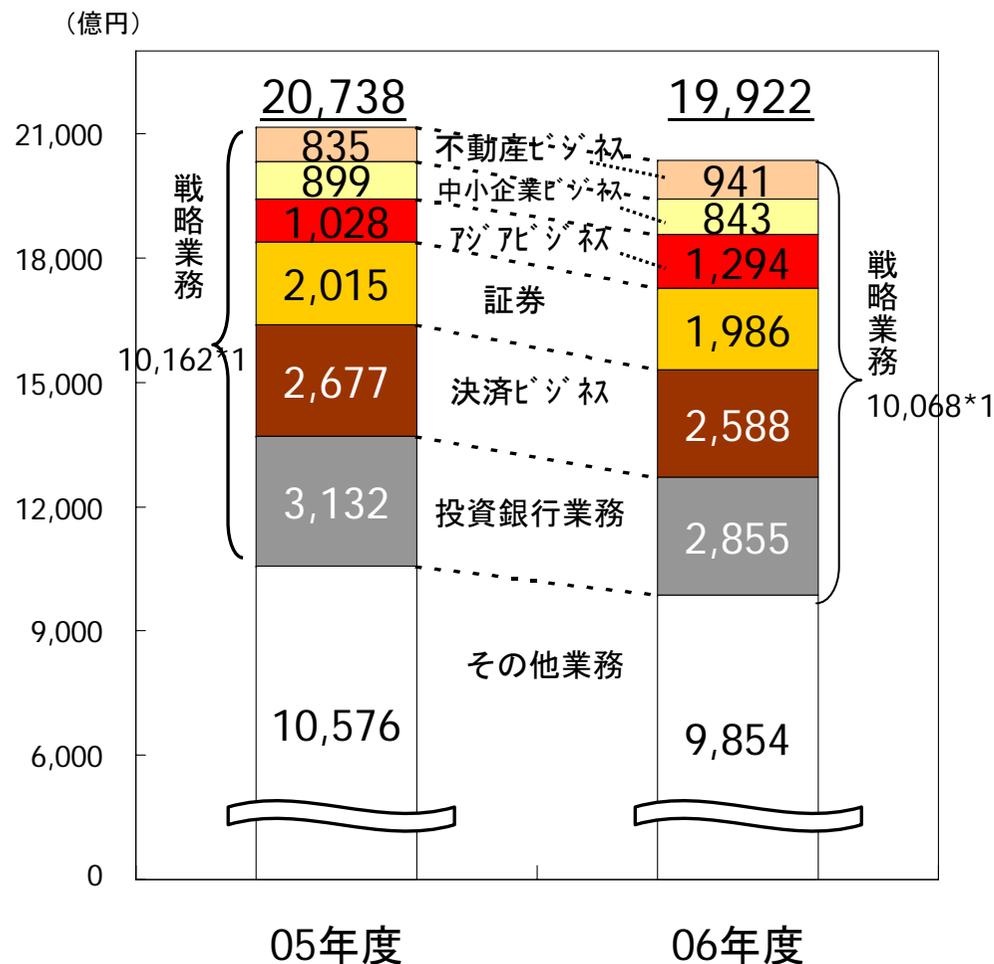
法人（粗利益・営業純益）

【連結】



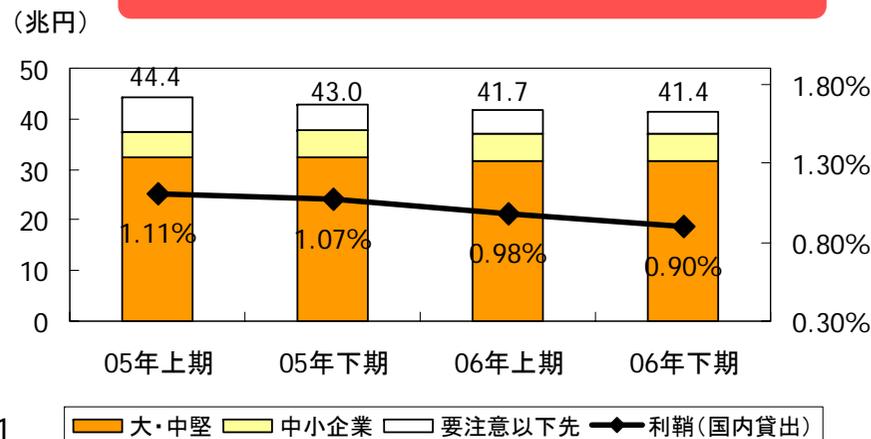
- アジアビジネス、不動産ビジネスは好調、投資銀行業務等は減少
- 粗利益19,922億円（前年度比▲3.9%）、営業純益10,492億円（同▲9.0%）

連結粗利益の状況

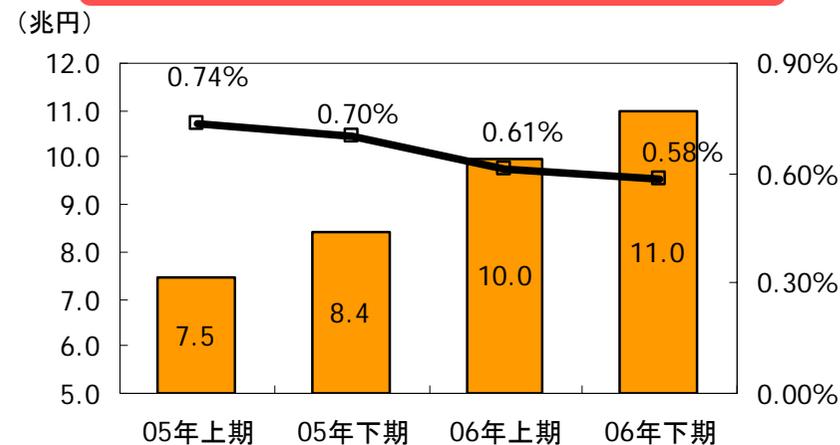


*1 業務間の重複計上（05年度：423億円、06年度：440億円）控除後

国内貸出平残と利鞘の推移



海外*2貸出平残と利鞘の推移



*2 除くUNBC

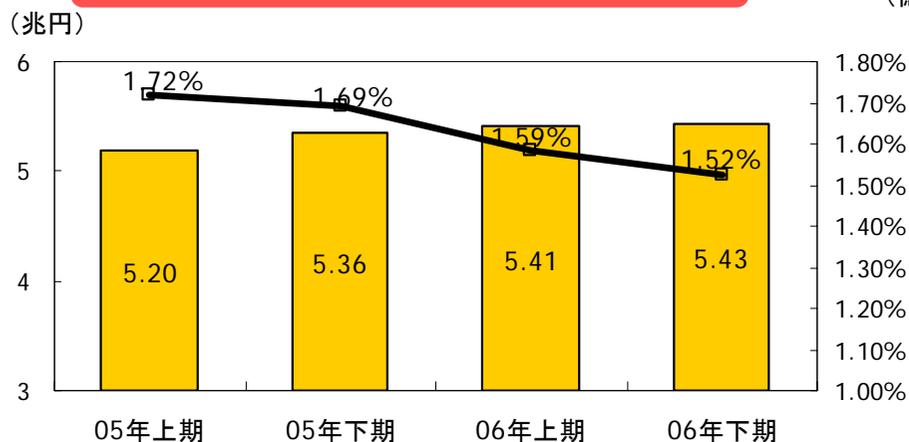
法人（中小企業ビジネス①）

【連結】



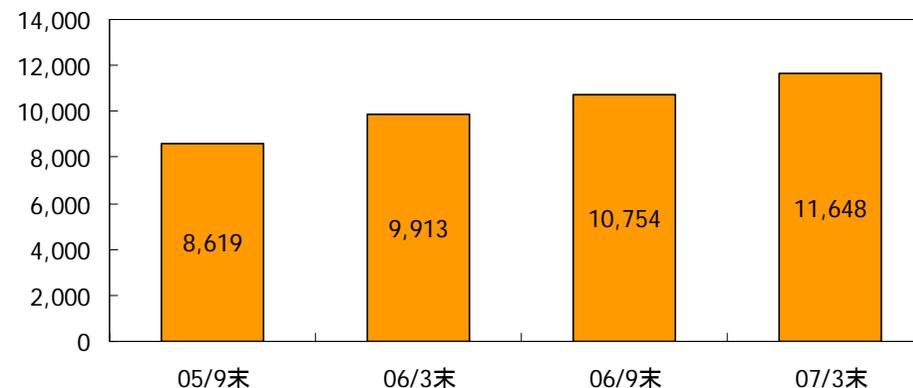
MUFG

中小企業向貸出平残と利鞘



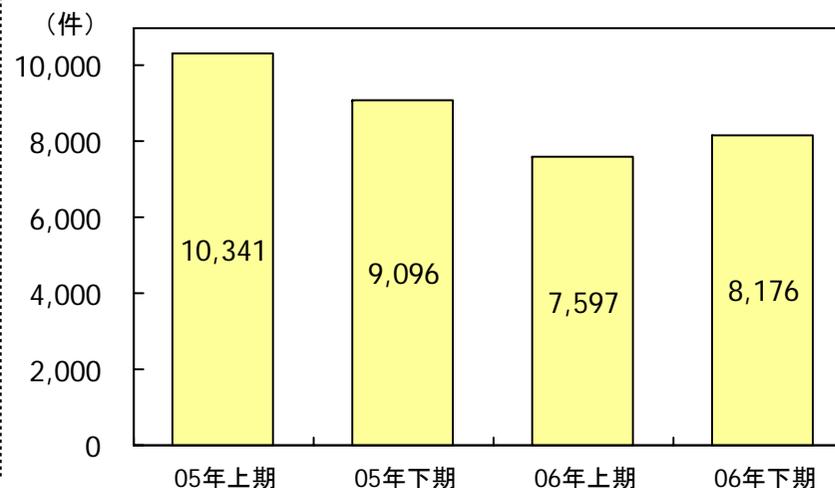
ビジネスローン「融活力」*1残高

(億円)



*1 TKC戦略ローンを含む（05/9末以前は融活力・TKC戦略経営者ローン（旧BTM）+ビジネスローン（旧UFJ））

法人新規獲得件数*2



*2 05/12までは、旧BTM、旧UFJの獲得件数の単純合算

06年度実績：粗利益843億円（前年度比▲56億円）

- 中小企業向貸出平残は、前年度比+1,407億円（+2.7%）増加したが、利鞘の低下を吸収できず
- ビジネスローン「融活力」の残高は、前年度末比+1,735億円（+17.5%）増加

07年度の取組み：

- ビジネスローンを中心とした貸出基盤（社数・残高）拡大
- 要員・チャネル・アライアンスの効率的活用
- 商品ラインアップの充実と審査モデルの高度化

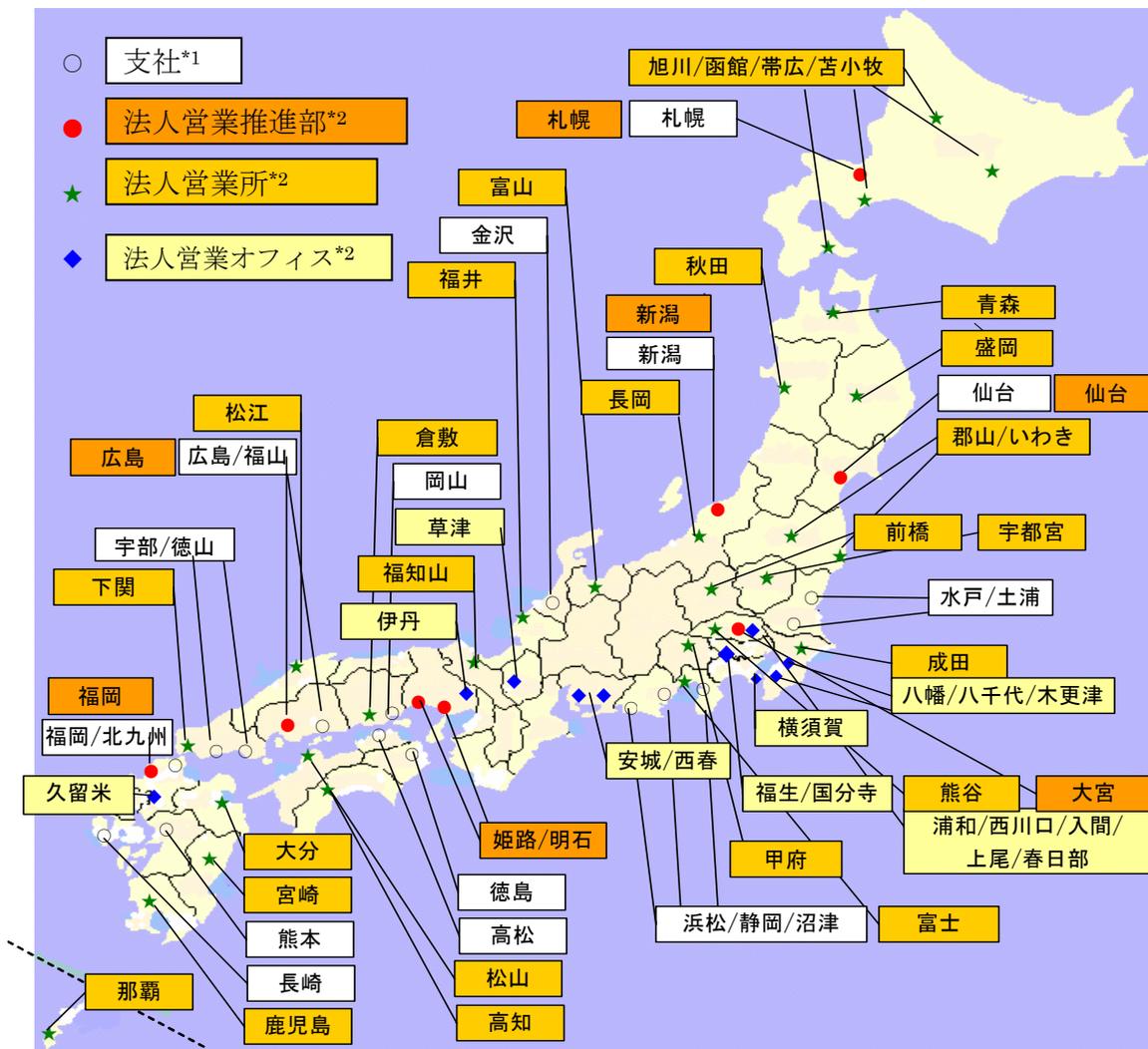
法人（中小企業ビジネス②）

【連結】



BTMU中小企業拠点の全国展開

(07年3月末現在)

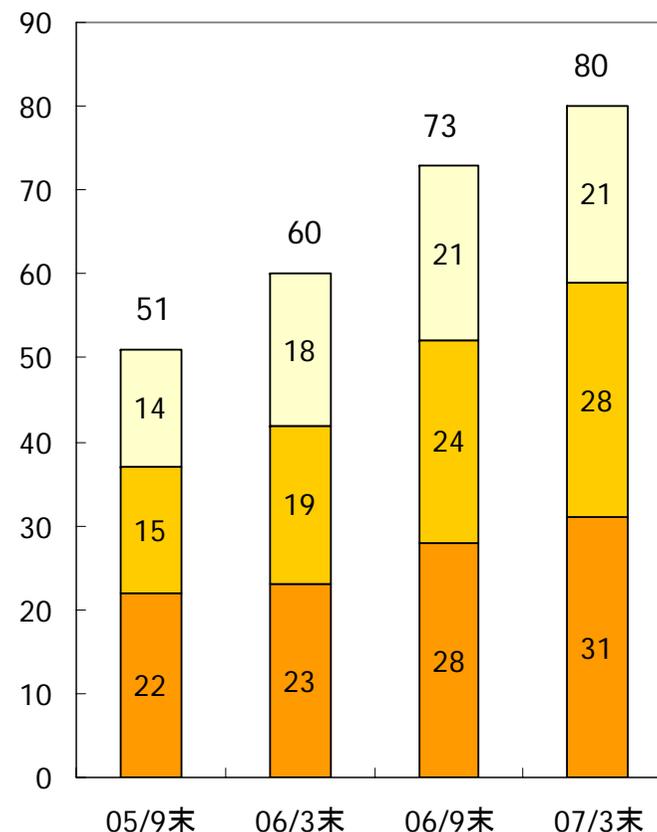


*1 除く3大都市圏

*2 除く6大都市（東京都区部・横浜・大阪・名古屋・京都・神戸）

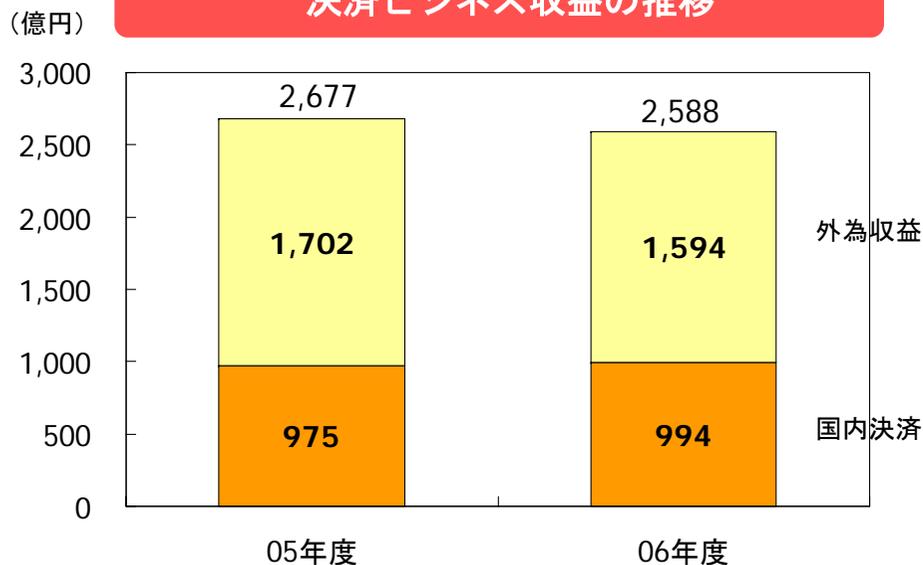
BTMU中小企業専担拠点数*3の推移

■ 法人営業推進部 ■ 法人営業所 □ 法人営業オフィス

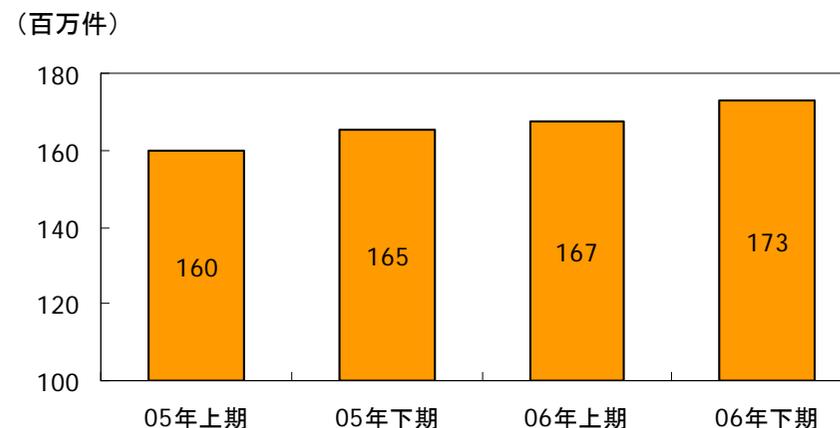


*3 6大都市を含む

決済ビジネス収益の推移



内国仕向振込件数の推移*1



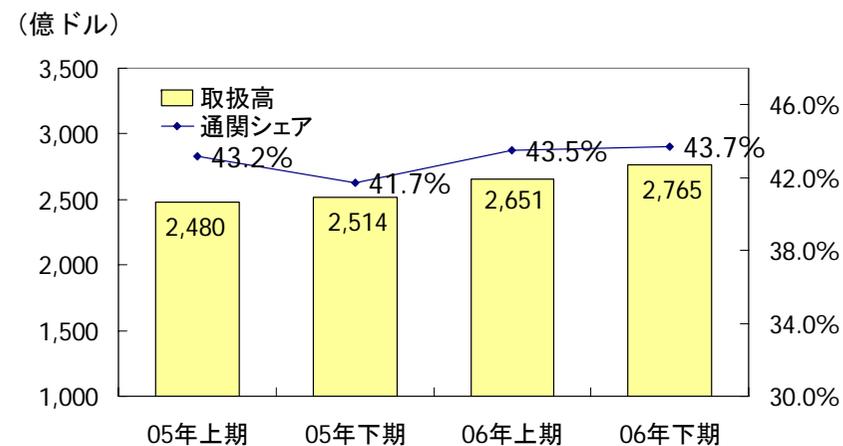
06年度実績：粗利益2,588億円（前年度比▲89億円）

- 内国仕向振込件数は前年度比約15百万件の増加
- 貿易取扱高も前年度比8.5%増、通関シェアも1.2pt増加
- 通貨オプションの減少により減収

07年度の取組み：

- 仕向・被仕向を中心としたベース収益の拡大
- 外為新規先の拡大、内外拠点連携によるネットワークビジネスの強化
- アセットファイナンス・トレードファイナンスの強化

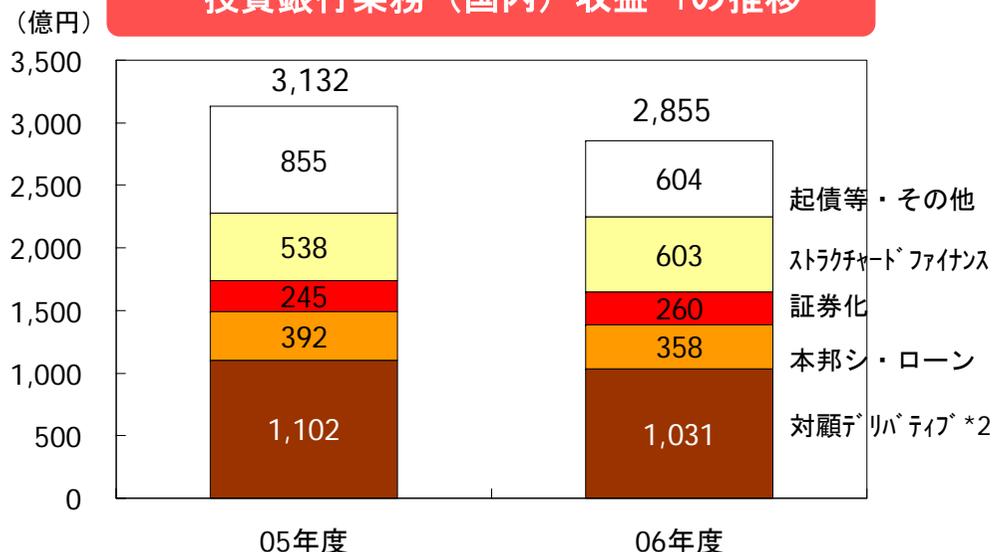
貿易取扱高と通関シェアの推移*1



*1 商業銀行



投資銀行業務（国内）収益*1の推移



*1 業務間の重複計上を含む

*2 証券仲介を含む

06年度実績：粗利益2,855億円（前年度比▲276億円）

- 起債、対顧客デリバティブは、金利等の環境要因もあり減収
- 一方、ストラクチャードファイナンス、シ・ローン、証券化は合計で漸増。シ・ローンは競争環境もあり減収ではあるものの、アレンジ件数及び同金額は前年比増加、顧客層を拡大中

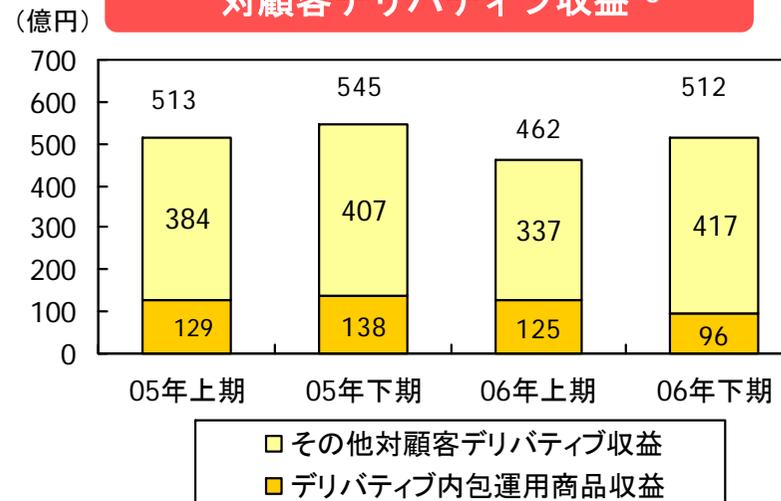
07年度の取組み：

- 銀・証連携活用により、企業価値向上・資本戦略ニーズに応えるM&A関連ファイナンスの取組み強化
- 資産回転型ビジネスモデルの推進
- 小口化・商品ラインナップ拡充による顧客層の拡大

本邦シ・ローンアレンジ実績



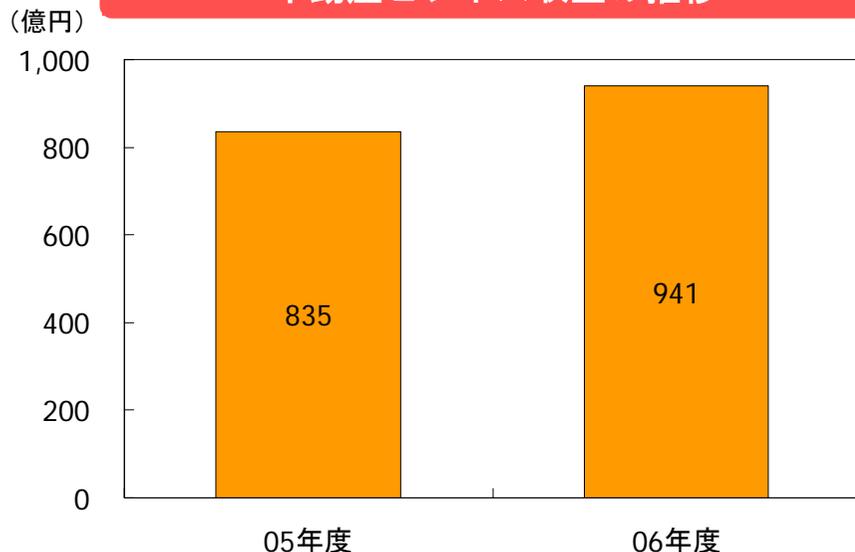
対顧客デリバティブ収益*3



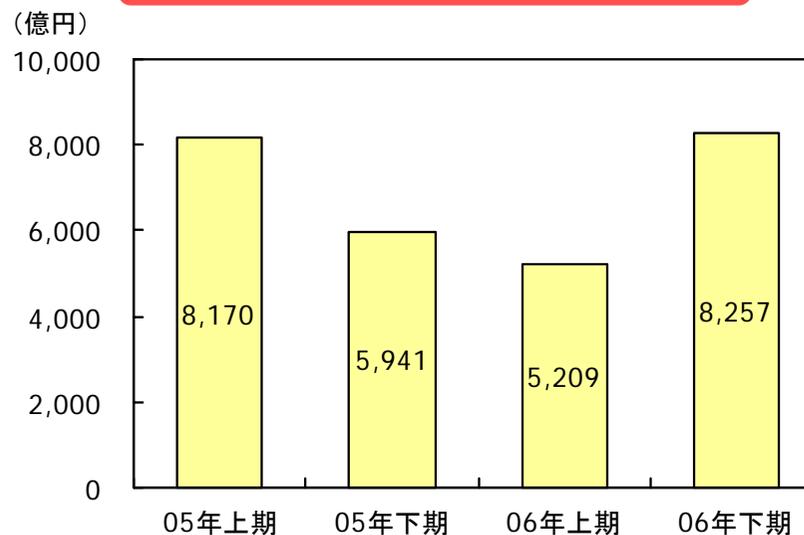
*3 証券仲介を含まず



不動産ビジネス収益の推移



不動産取扱高実績*1



*1 法人部門のみの取扱高

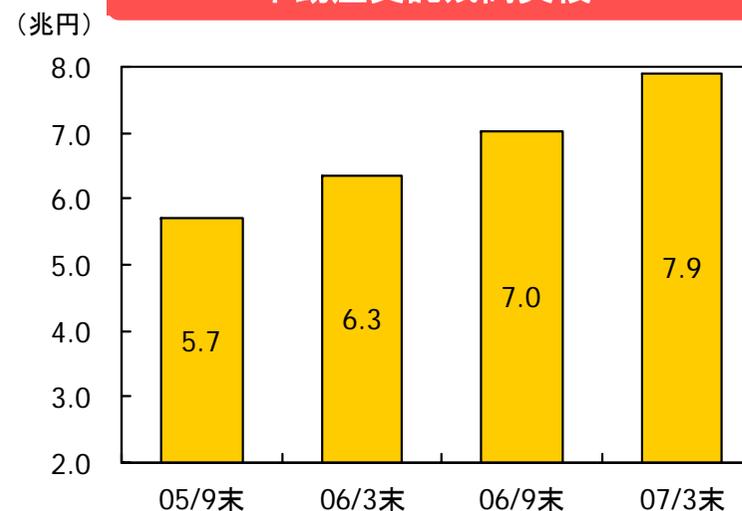
06年度実績：粗利益941億円（前年度比+106億円）

- 不動産取扱高は下期増加に転じ、年度ベースでも1兆3千億円超を確保
- 不動産受託残高は7.9兆円（06年3月末比+約1.6兆円）と順調に積上げ

07年度 of 取組み：

- 提案型営業による実質専任案件の獲得
- 私募ファンドやJ-REIT等ファイナンス案件創出
- ファンド組成・販売、J-REIT主幹事、プレースメント力の強化

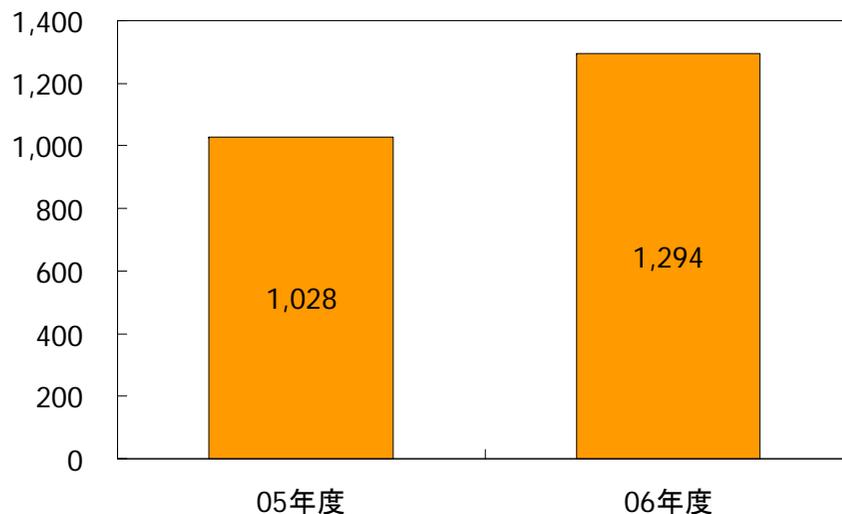
不動産受託残高実績





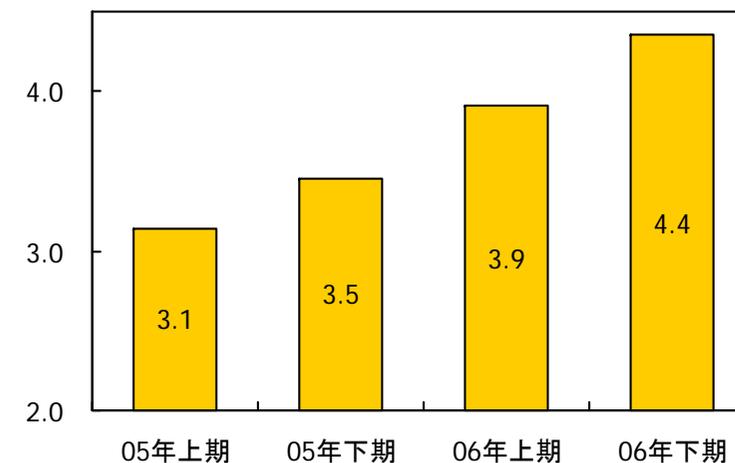
アジアビジネス収益の推移

(億円)



アジアの貸出平残の推移

(兆円)



06年度実績：粗利益1,294億円（前年度比+266億円）

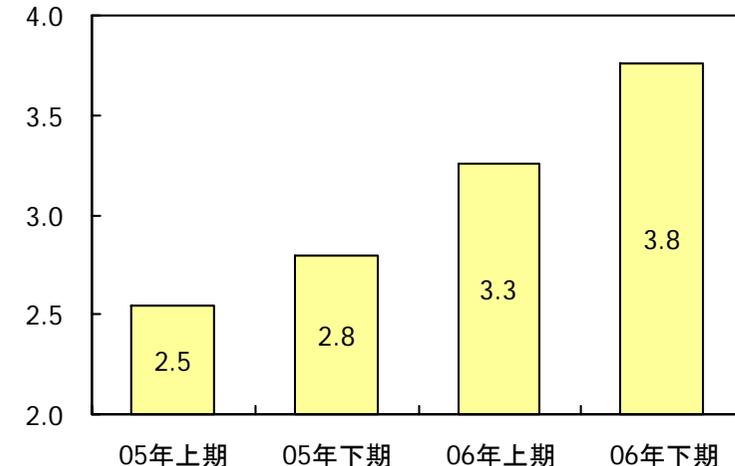
- 日系、非日系ともに好調な資金需要に対応し、貸出平残は4.1兆円（前年度比+約8千億円）、外為収益も好調推移
- 預金平残は、3.5兆円と前年度比約8千億円の増加

07年度の取組み：

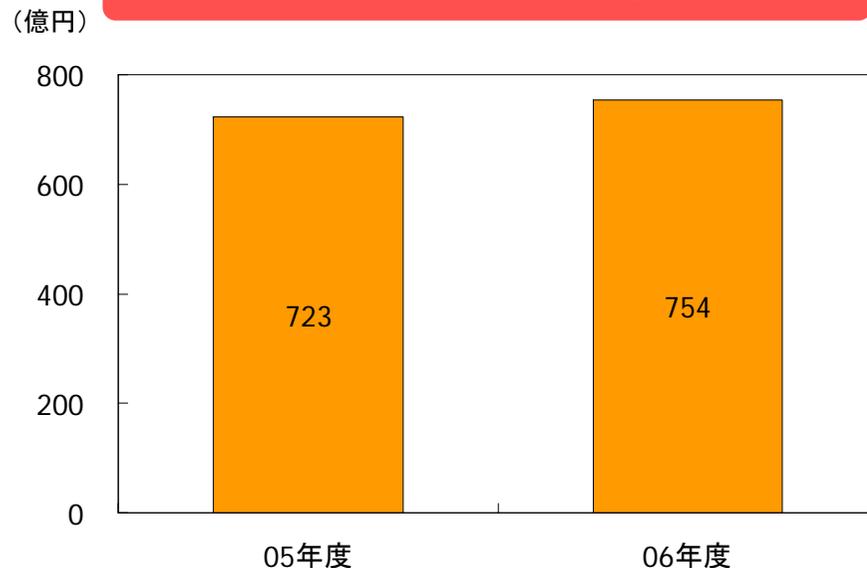
- 成長地域での拠点展開、内外、域内連携推進による顧客基盤の拡大
- CMS、市場・投資銀行業務等ソリューション提供力拡充

アジアの預金平残の推移

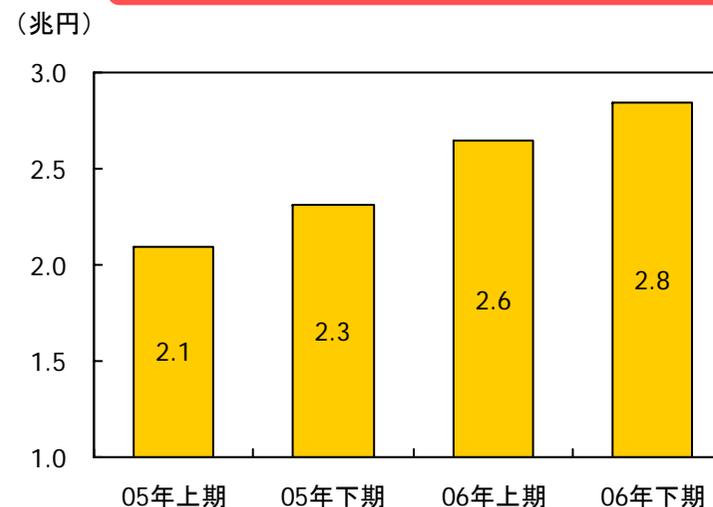
(兆円)



米州ビジネス収益の推移



米州の貸出平残の推移



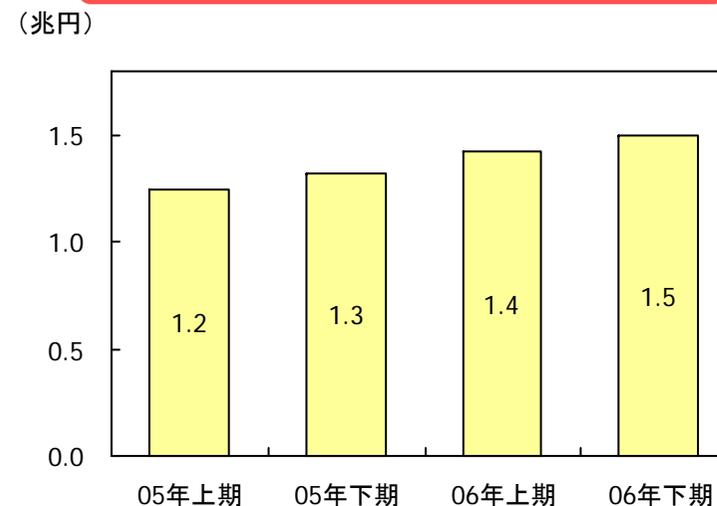
06年度実績：粗利益754億円（前年度比+31億円）

- 好調な資金需要に対応し、貸出平残は2.8兆円と前年度比約5千億円の増加
- 預金平残は、約1.5兆円と前年度比約1千億円の増加

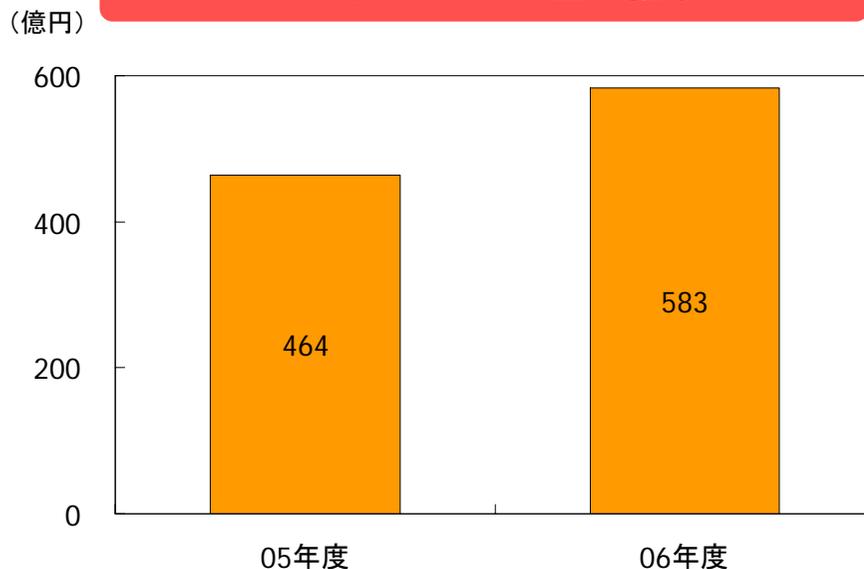
07年度の取組み：

- 非日系業務体制見直しにより、顧客深堀と業務効率化に基づく収益力強化
- CPM (Credit Portfolio Management) 機能の強化

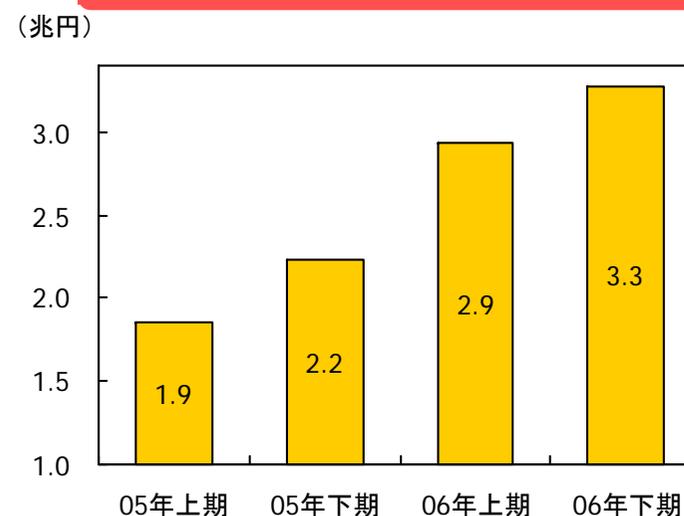
米州の預金平残の推移



欧州ビジネス収益の推移



欧州の貸出平残の推移



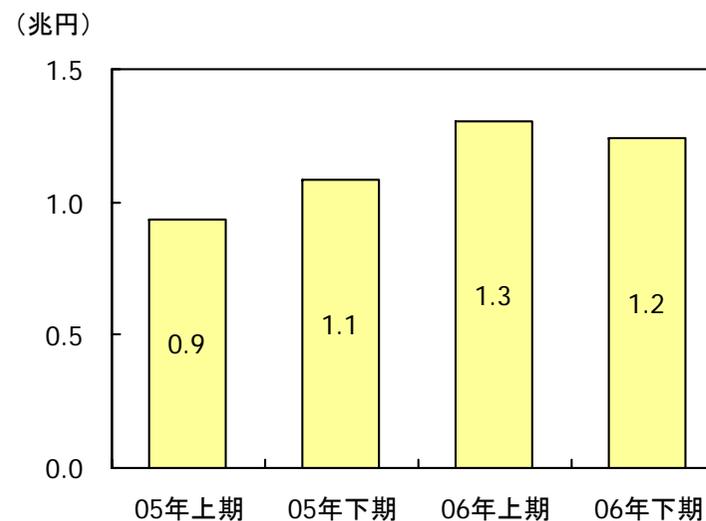
06年度実績：粗利益583億円（前年度比+119億円）

- 好調な資金需要に対応し、貸出平残は3.1兆円と前年度比約1兆円の増加
- 預金平残は、約1.3兆円と前年度比約3千億円の増加

07年度の実績：

- LBOファイナンスの資産積上を積極化
- 拠点ネットワーク活用による、西欧・エマージング地域での欧州系企業との取引拡大

欧州の預金平残の推移



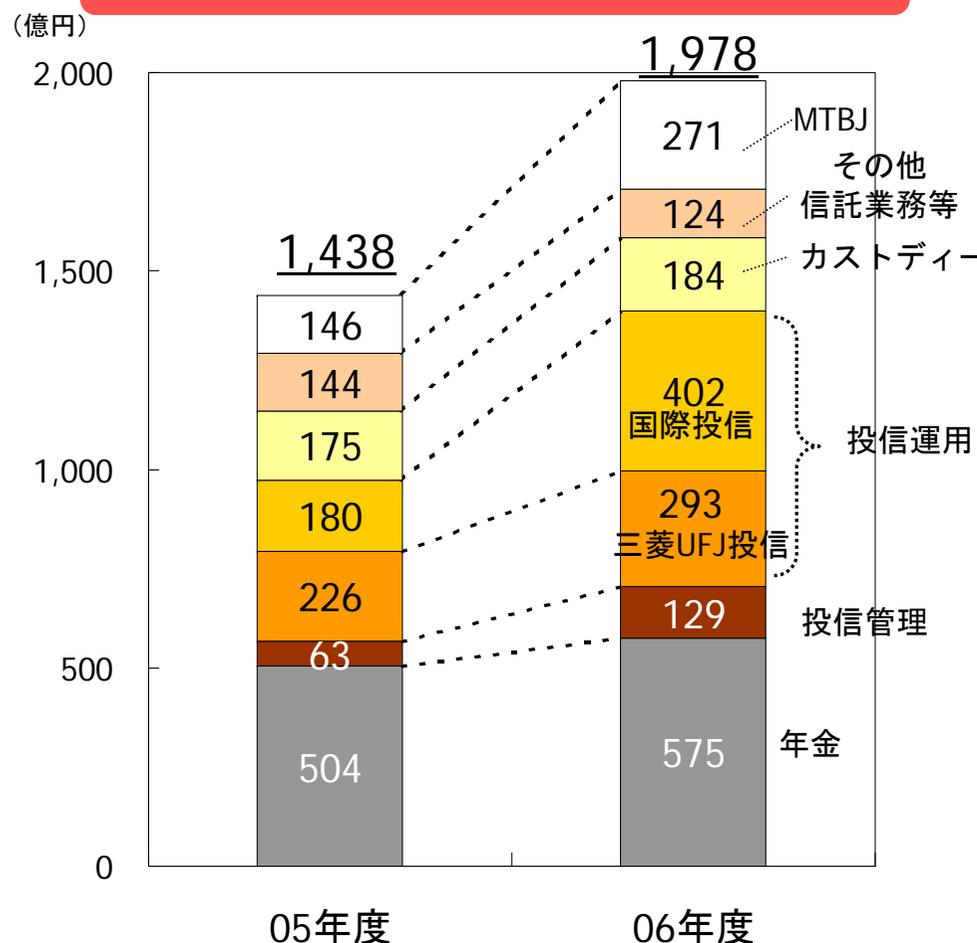
受託財産（粗利益・営業純益）

【連結】



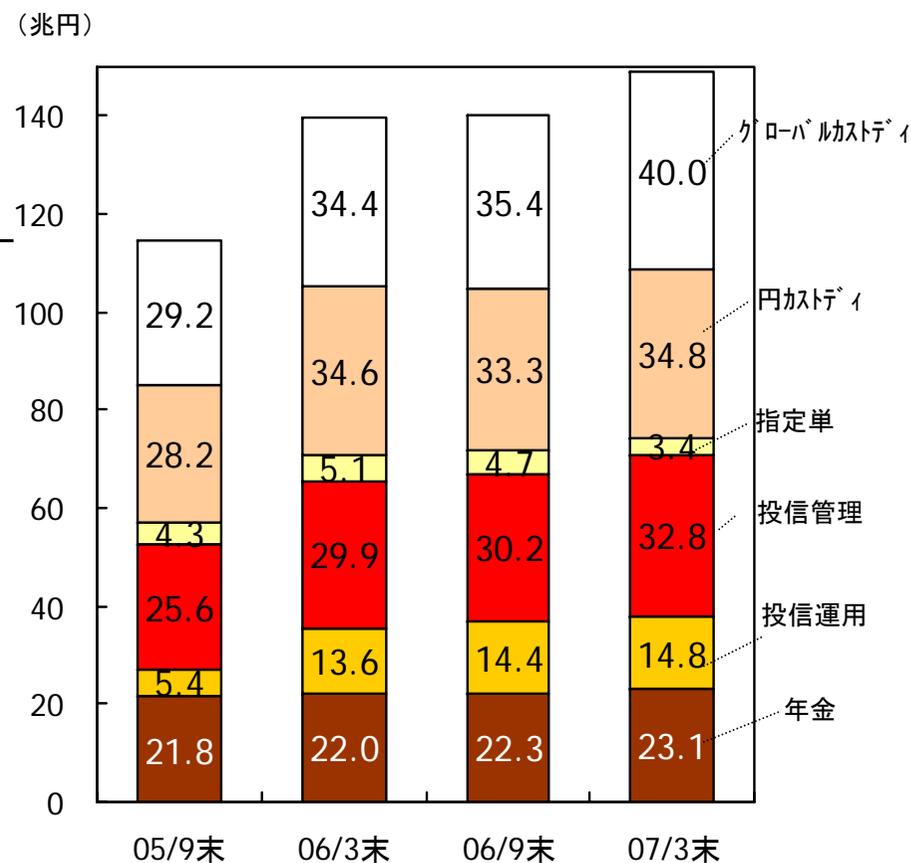
- 概ね各業務ともに堅調に推移、粗利益は前年度比+37.6%、
営業純益は前年比+74.9%の増加

連結粗利益の状況



(注) 05年下期より国際投信投資顧問・MTBJを含む

主な資産の残高推移



(注) 受託資産には、上表以外に年金以外の特金や有価証券管理受任等あり

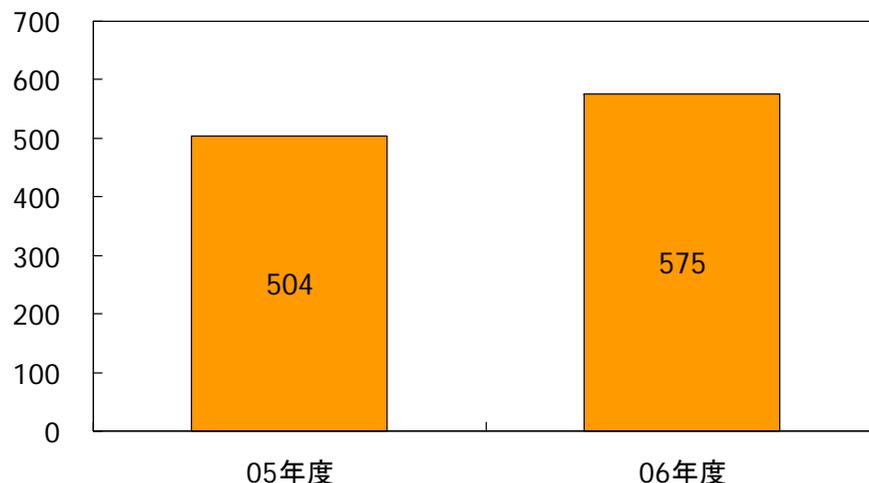
受託財産（年金業務）

【連結】



(億円)

年金業務収益の推移



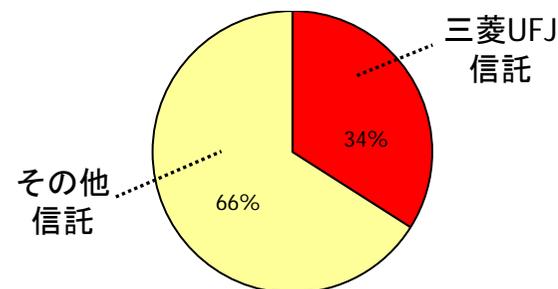
06年度実績：粗利益575億円（前年度比+71億円）

- 主力の年金信託でアクティブ系運用商品販売を強化、確定拠出年金でも運用商品販売の好調で収益積上げ、年金全体で前年度比71億円増収となった

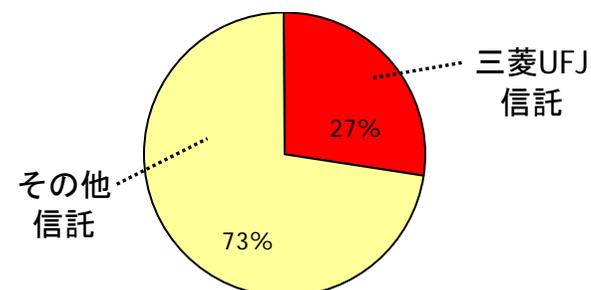
07年度の取組み：

- 顧客セグメントに応じたアクティブ系運用商品の提供による新規受託獲得
- 確定拠出年金の中小年金への取組み強化

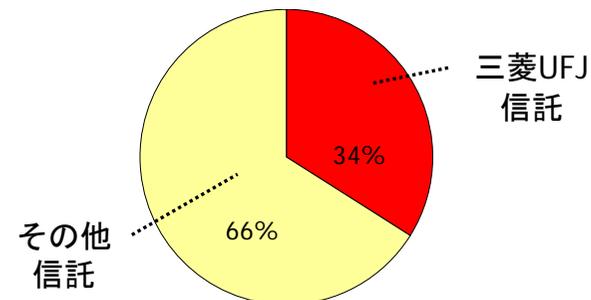
年金信託シェア（07/3末）



年金特金シェア（07/3末）



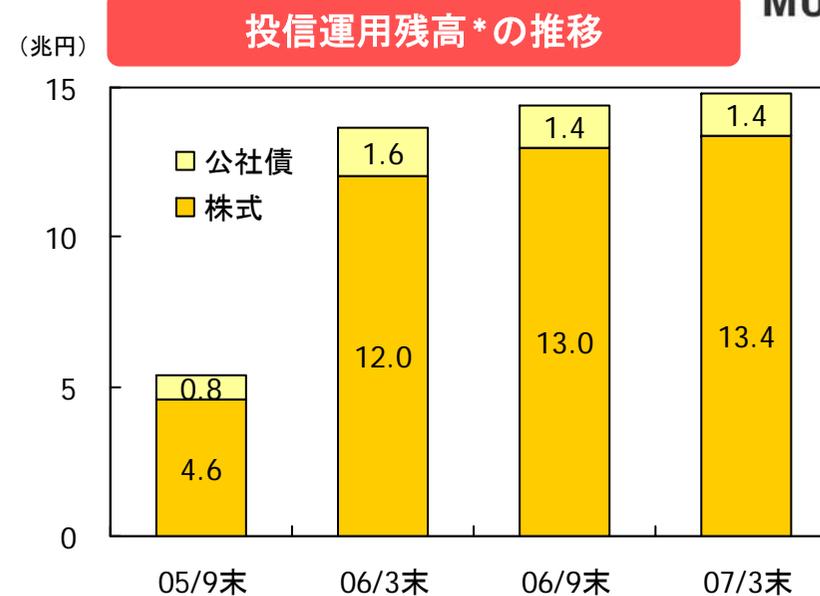
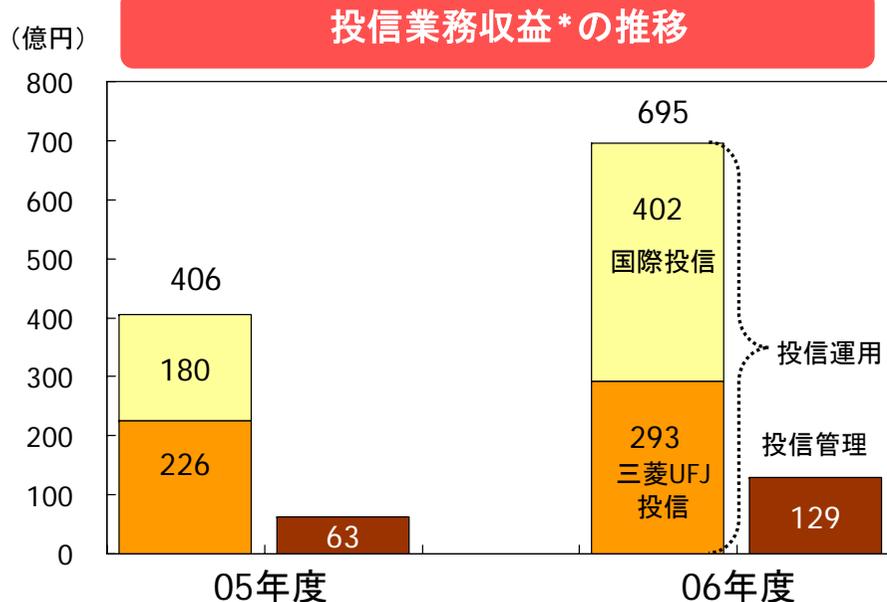
確定拠出年金シェア（資産管理）（07/3末）



(注) 日本マスタートラスト信託銀行との合計数値、シェアは当社推計値（簿価ベース）

受託財産（投信運用業務・投信管理業務）

【連結】



06年度実績：

投信運用：粗利益695億円（前年度比+289億円）

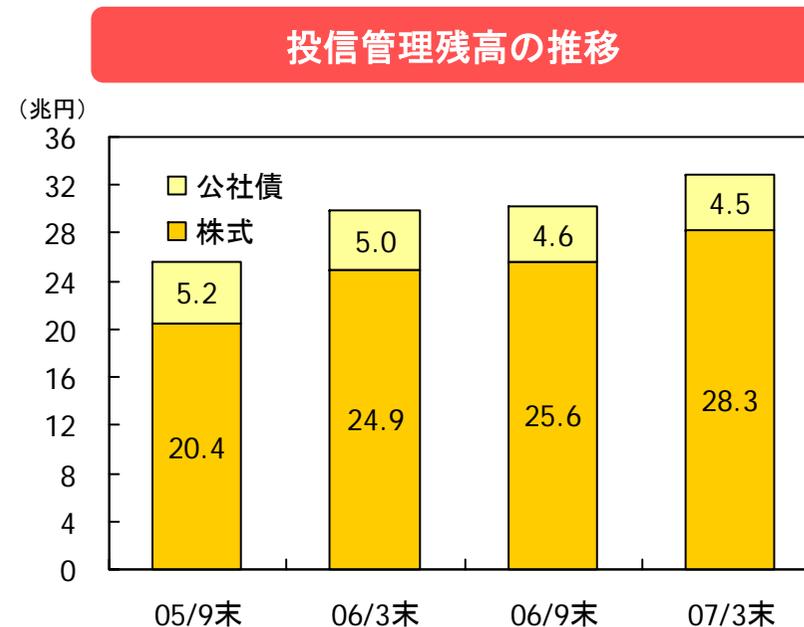
- ▶ 株式投信販売が好調に推移、投信運用残高は前年度比+ 1.2兆円の14.8兆円

投信管理：粗利益129億円（前年度比+66億円）

- ▶ 投信管理残高は約33兆円に

07年度の取組み：

- ▶ グループ内販売チャネルへの商品供給・営業サポートの継続とともに、地銀等グループ外チャネルの拡大
- ▶ 管理機能強化を梃子に証券系投信会社からの受託拡大



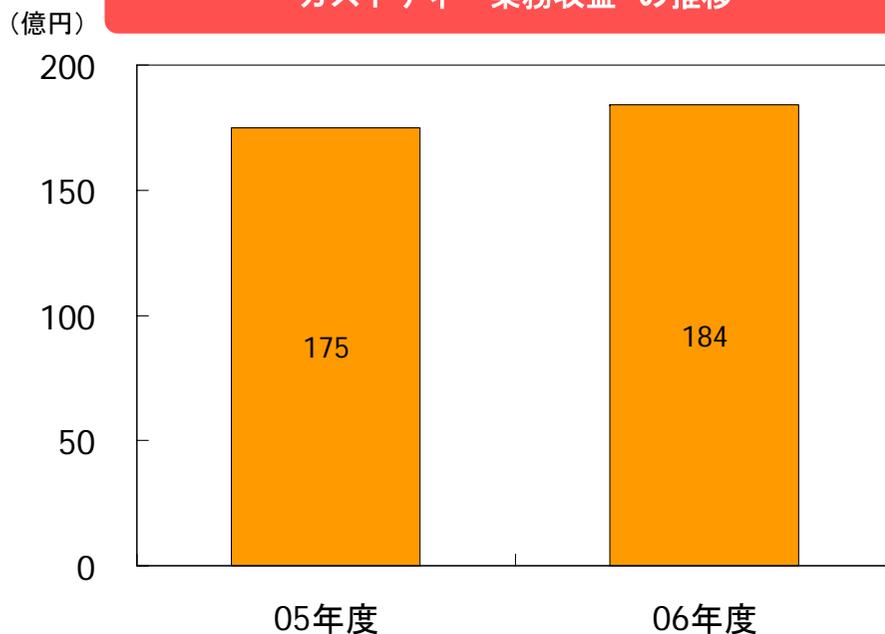
* 05年下期より国際投信投資顧問含む

受託財産（カストディー業務）

【連結】



カストディー業務収益*の推移



*円カストディ収益+グローバルカストディ収益

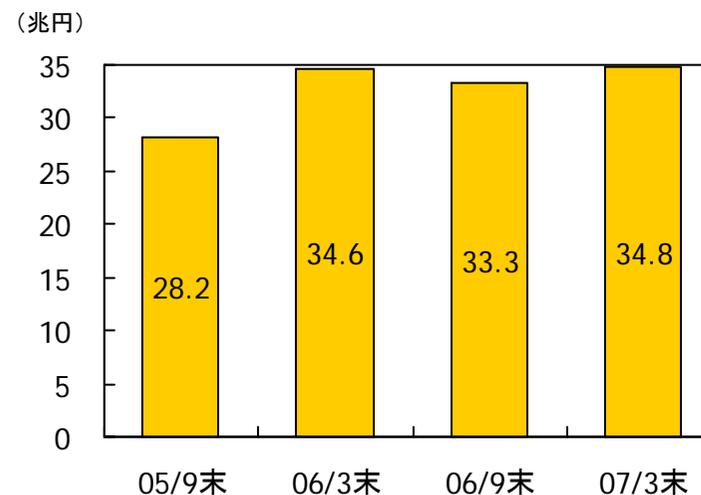
06年度実績：粗利益184億円（前年度比+9億円）

➢ 円カストディ、グローバルカストディともに預り資産を積上げ、粗利益は順調に拡大

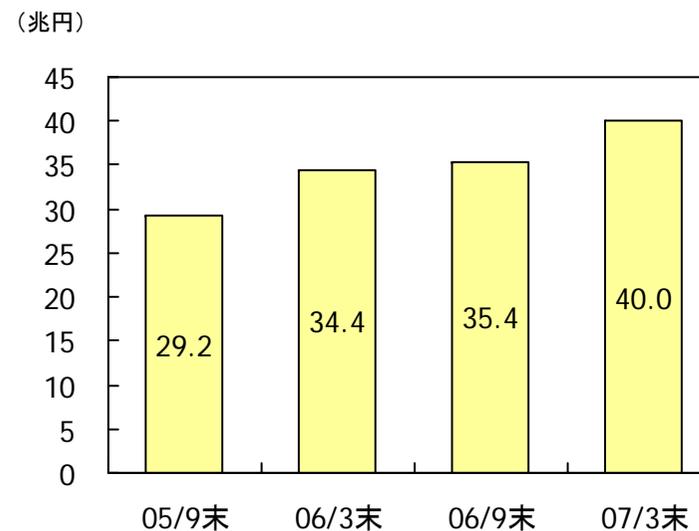
07年度の取組み：

- MUFG国内外拠点の連携による資産管理業務の成長戦略の推進
- 外国為替・レンディング等付加価値業務の強化

円カストディ預り資産残高



グローバルカストディ預り資産残高



管理会計基準の変更



- ダブルカウントの見直し、間接経費配賦基準の変更等、管理会計基準を見直し（2007年度上期より新基準で報告）

<管理会計基準変更に伴う部門収益(06年度)への影響>

(億円)

	粗利益			経費			営業純益		
	新基準 (速報値)	旧基準	差額	新基準 (速報値)	旧基準	差額	新基準 (速報値)	旧基準	差額
リテール	12,822	12,456	+365	9,016	8,335	+681	3,806	4,121	▲316
法人	19,253	19,922	▲669	9,160	9,429	▲270	10,093	10,492	▲399
国内	12,975	13,600	▲625	5,374	5,678	▲304	7,601	7,922	▲321
海外	6,278	6,322	▲44	3,786	3,751	35	2,492	2,571	▲78
受託財産	1,942	1,978	▲36	1,038	1,072	▲34	904	907	▲2
市場・その他	3,827	3,096	+731	2,326	2,250	+76	1,501	846	+655
合計	37,843	37,452	+391	21,539	21,086	+453	16,304	16,366	▲62

余白

2006年度決算の概要

部門別収益の状況

資産・資本の状況

参考情報

与信関係費用

【単体合算】



勘定科目別与信関係費用

(億円)

科目	05年度	06年度
一般貸倒引当金繰入額	—	▲ 17
貸出金償却	▲ 1,142	▲ 1,166
個別貸倒引当金繰入額	—	▲ 45
その他の与信関係費用	▲ 492	▲ 79
臨時損益に計上された与信関係費用	▲ 1,634	▲ 1,291
与信関係費用（信託勘定）	▲ 9	▲ 1
貸倒引当金戻入益	6,961	905
与信関係費用総額	5,317	▲ 404
償却債権取立益	889	1,020
与信関係費用総額＋償却債権取立益	6,207	615

(注) ▲は費用を示す

金融再生法開示債権

【単体合算】



(銀行勘定・信託勘定合算)

(億円)

	06/3末 (A)	06/9末 (B)	07/3末 (C)	増 減 (C)－(A)	増 減 (C)－(B)
破産更生債権及び これらに準ずる債権	1,523	1,250	1,159	▲ 363	▲ 90
危険債権	7,494	4,959	6,479	▲ 1,015	1,519
要管理債権	9,241	6,569	5,620	▲ 3,621	▲ 948
金融再生法開示債権小計	18,259	12,778	13,258	▲ 5,000	480
うち 要管理先非開示債権	5,482	3,010	2,690	▲ 2,791	▲ 319
うち その他要注意先債権	36,985	38,212	51,013	14,028	12,800
正常債権	862,723	874,629	892,681	29,958	18,052
合計	880,982	887,408	905,940	24,958	18,532

貸倒引当金・保全の状況

【単体合算】



○金融再生法開示区分毎の引当状況 [銀行勘定・信託勘定合算]

(07/3末)

(億円、%)

債権区分	開示残高(a)	担保・保証(b)		引当金(c)		カバー額(d)=(b)+(c)		裸与信(e)=(a)-(b)	
		保全率(b)/(a)		引当率(c)/(a)		カバー率(d)/(a)		非保全率(e)/(a)	
破産更生等債権	1,159	1,143	98.57%	16	1.42%	1,159	100.00%	16	1.42%
危険債権	6,479	2,858	44.11%	2,613	40.33%	5,471	84.45%	3,620	55.88%
要管理債権	5,620	2,582	45.95%	1,383	24.62%	3,966	70.58%	3,037	54.04%
合計	13,258	6,584	49.66%	4,013	30.27%	10,598	79.93%	6,674	50.33%

(06/9末)

(億円、%)

債権区分	開示残高(a)	担保・保証(b)		引当金(c)		カバー額(d)=(b)+(c)		裸与信(e)=(a)-(b)	
		保全率(b)/(a)		引当率(c)/(a)		カバー率(d)/(a)		非保全率(e)/(a)	
破産更生等債権	1,250	1,199	95.97%	50	4.02%	1,250	100.00%	50	4.02%
危険債権	4,959	3,021	60.93%	1,265	25.52%	4,287	86.45%	1,937	39.06%
要管理債権	6,569	2,897	44.11%	1,661	25.28%	4,559	69.40%	3,671	55.88%
合計	12,778	7,119	55.71%	2,977	23.29%	10,096	79.01%	5,658	44.28%

(06/3末)

(億円、%)

債権区分	開示残高(a)	担保・保証(b)		引当金(c)		カバー額(d)=(b)+(c)		裸与信(e)=(a)-(b)	
		保全率(b)/(a)		引当率(c)/(a)		カバー率(d)/(a)		非保全率(e)/(a)	
破産更生等債権	1,523	1,479	97.09%	44	2.90%	1,523	100.00%	44	2.90%
危険債権	7,494	4,141	55.26%	2,326	31.03%	6,467	86.29%	3,352	44.73%
要管理債権	9,241	2,709	29.32%	2,307	24.97%	5,017	54.29%	6,531	70.67%
合計	18,259	8,330	45.62%	4,678	25.62%	13,008	71.24%	9,928	54.37%

引当率の推移



○自己査定債務者区分毎の引当率の推移

【三菱東京UFJ銀行】

(%)

債務者区分	06/3末	06/9末	07/3末	06/3末比	06/9末比
正常先	0.20%	0.18%	0.18%	▲ 0.02%	0.00%
要注意先 (非保全部分)	10.91% (19.63%)	10.30% (21.41%)	8.10% (15.75%)	▲ 2.81% (▲ 3.87%)	▲ 2.20% (▲ 5.66%)
その他要注意先 (非保全部分)	5.00% (10.28%)	6.37% (13.82%)	5.13% (10.10%)	0.12% (▲ 0.18%)	▲ 1.24% (▲ 3.72%)
要管理先 (非保全部分)	25.69% (35.25%)	26.37% (46.82%)	25.57% (46.61%)	▲ 0.12% (11.36%)	▲ 0.80% (▲ 0.20%)
破綻懸念先 (非保全部分)	(68.71%)	(65.09%)	(72.04%)	(3.33%)	(6.95%)

【三菱UFJ信託銀行(銀行勘定)】

(%)

債務者区分	06/3末	06/9末	07/3末	06/3末比	06/9末比
正常先	0.18%	0.14%	0.15%	▲ 0.02%	0.01%
要注意先 (非保全部分)	10.50% (20.83%)	9.45% (24.74%)	7.03% (11.81%)	▲ 3.47% (▲ 9.01%)	▲ 2.41% (▲ 12.92%)
その他要注意先 (非保全部分)	6.27% (14.85%)	6.55% (18.56%)	5.50% (8.88%)	▲ 0.77% (▲ 5.96%)	▲ 1.05% (▲ 9.67%)
要管理先 (非保全部分)	21.50% (29.98%)	19.01% (39.91%)	18.32% (43.56%)	▲ 3.17% (13.57%)	▲ 0.69% (3.64%)
破綻懸念先 (非保全部分)	(74.89%)	(72.27%)	(74.15%)	(▲ 0.74%)	(1.87%)

(注1) 自己査定債務者区分毎の引当率であるが、対象科目は、金融再生法ベース（貸出金、外国為替、支払承諾見返、貸付有価証券、与信に関する仮払金、未収利息、保証付私募債）

(注2) 保証会社保証付ローン等、一部対象外資産あり

(注3) 分離子会社を含む

保有有価証券の状況



その他有価証券評価損益

【MUFG連結】 (億円)

	取得原価	貸借対照表計上額	07/3末	
			評価損益	06/3末比
国内株式	44,403	76,616	32,213	2,405
国内債券	221,323	220,619	▲ 703	1,397
外国株式	852	2,019	1,166	251
外国債券	80,577	80,096	▲ 481	428
その他	46,914	48,562	1,647	▲ 172
合計	394,071	427,913	33,842	4,309

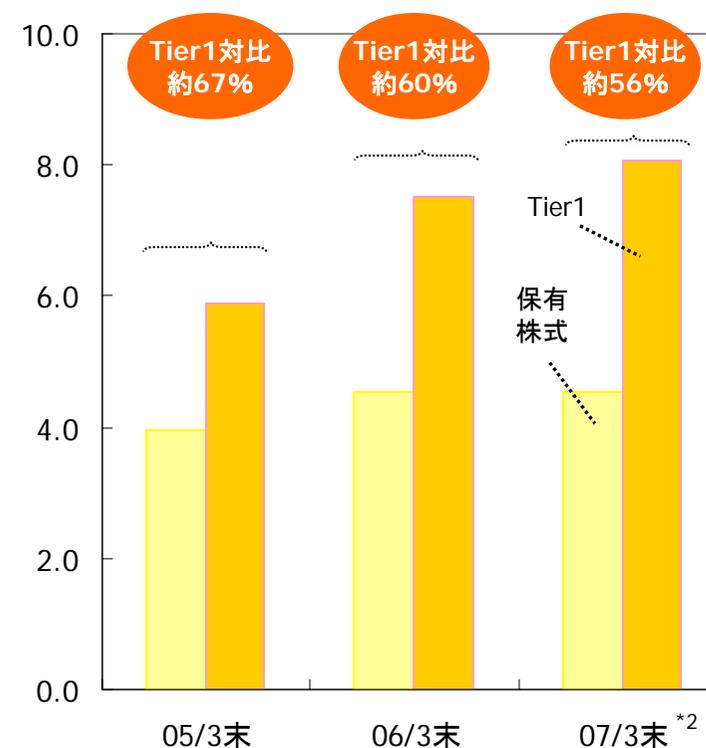
(参考) 子会社・子法人等株式及び関連法人等株式で時価のあるもの
[単体合算] (億円)

	評価差額		
	06/3末	07/3末	増減
子会社・子法人等株式	11,991	5,653	▲ 6,338
関連法人等株式	812	571	▲ 240

保有株式の状況*1

【連結】

(兆円)



*1 その他有価証券で時価のあるもののうち、国内株式及び外国株式の合計
(連結取得原価ベース、株式保有規制上の保有株式・Tier1とは異なる)

*2 07/3末の自己資本は新自己資本比率規制 (Basel II) にて算出

ヘッジ会計適用デリバティブの状況

【連結】



1. ヘッジ会計適用分デリバティブ取引の状況

(単位：億円)

種 類	当連結会計年度末 (2007年3月末現在)	
	契約額等	時 価
金利先物	33,717	△ 5
金利スワップ	282,227	465
通貨スワップ等	74,580	△ 928
その他(金利関連)	4,466	22
その他(金利関連以外)	6,232	5
合 計		△ 439

(注) ヘッジ会計適用分デリバティブ取引(「金融商品に関する会計基準」に基づく金利スワップの特例処理により、発生主義で損益認識している取引を除く)の契約額等及び時価について記載。

【金利スワップ取引の残存期間別想定元本】

(単位：億円)

金利種類	1年以内	1年超～5年以内	5年超	合計
受取固定・支払変動	136,511	96,334	4,428	237,274
受取変動・支払固定	24,259	13,061	7,431	44,752
受取変動・支払変動	-	-	200	200
受取固定・支払固定	-	-	-	-
合 計	160,771	109,395	12,060	282,227

2. デリバティブ取引に係る繰延損益の状況

(単位：億円)

種 類	当連結会計年度末 (2007年3月末現在)		
	繰延利益 (A)	繰延損失 (B)	ネット繰延損益 (A)-(B)
金利先物	46	86	△ 39
金利スワップ	1,611	2,472	△ 860
通貨スワップ等	1,212	1,184	27
その他(金利関連)	—	11	△ 11
その他(金利関連以外)	6	2	4
合 計	2,877	3,756	△ 879

(注) ヘッジ会計適用分デリバティブ取引(「金融商品に関する会計基準」に基づく金利スワップの特例処理により、発生主義で損益認識している取引を除く)に係る繰延利益・繰延損失のほか、従来の「マクロヘッジ」に基づく繰延利益及び繰延損失の当連結会計年度末における残高(税効果額控除前)について記載。

自己資本比率

【連結】



自己資本比率（国際統一基準）の状況

【連結】

(億円)

	06/3末 ^{*1}	07/3末 ^{*2}	07/3末 ^{*1} [旧基準]
自己資本	134,603	133,444	141,782
Tier1	75,016	80,548	80,966
優先株	9,657	3,368	
優先出資証券	12,372	12,563	
Tier2 (自己資本算入分)	62,937	57,179	63,507
其他有価証券含み益	13,431	15,417	
土地再評価差額	1,621	1,593	
劣後ローン(債券)残高	37,866	38,443	
一般貸倒引当金	10,016	1,725	8,052
Tier3	-	-	-
控除項目	3,349	4,283	2,691
リスクアセット	1,102,926	1,063,955	1,153,596
信用リスク部分	1,089,295	982,607	1,135,298
マーケットリスク部分	13,630	21,316	18,297
オペレーショナルリスク部分		60,030	
自己資本比率(%)	12.20%	12.54%	12.29%
Tier1比率(%)	6.80%	7.57%	7.01%
アウトライヤー比率		7.9%	

<Tier1の主な変動要因>

【Tier1】	+5,531億円
> 当期純利益	+約8,800億円
> 公的資金返済等による 自己株式増加	▲約2,200億円
> 18年度配当額（期末予定額含む）	▲約1,100億円

*1 旧自己資本比率規制（Basel I）に基づき算出
*2 新自己資本比率規制（Basel II）に基づき算出

繰延税金資産

繰延税金資産の発生要因別残高

【BTMU単体】		(億円)		
	06/3末 (A)	07/3末 (B)	増減 (B)-(A)	
繰延税金資産合計	17,430	14,891	▲ 2,538	
貸倒引当金	5,449	4,295	▲ 1,154	
有価証券有税償却	3,089	2,192	▲ 896	
繰越欠損金	11,065	9,051	▲ 2,014	
退職給付引当金	991	896	▲ 95	
その他有価証券評価差額金	-	110	110	
その他	3,719	4,401	682	
評価性引当額(▲)	6,885	6,055	▲ 829	
繰延税金負債合計	11,432	12,941	1,509	
退職給付信託設定益	450	465	14	
その他有価証券評価差額金	8,126	9,968	1,842	
その他	2,855	2,507	▲ 347	
繰延税金資産の純額	5,998	1,949	▲ 4,048	

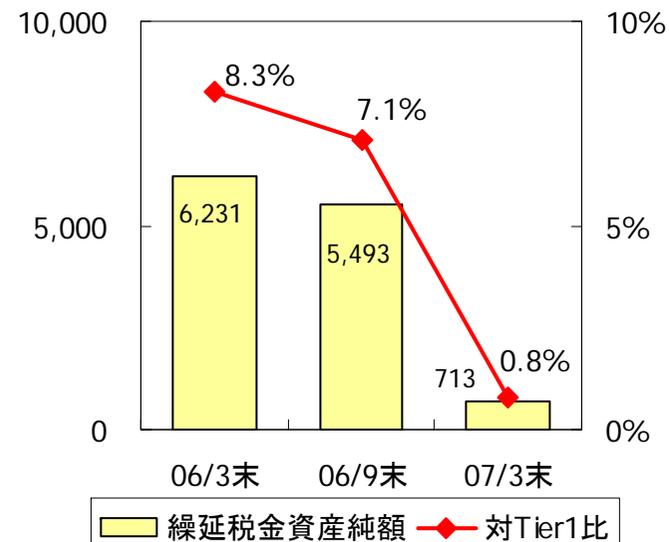
【MUTB単体】		(億円)		
	06/3末 (A)	07/3末 (B)	増減 (B)-(A)	
繰延税金資産合計	2,839	2,156	▲ 682	
貸倒引当金	510	405	▲ 104	
有価証券有税償却	1,149	748	▲ 401	
繰越欠損金	2,134	1,566	▲ 567	
その他	400	409	9	
評価性引当額(▲)	1,356	974	▲ 382	
繰延税金負債合計	2,910	3,079	169	
その他有価証券評価差額金	2,595	2,789	194	
その他	314	289	▲ 24	
繰延税金資産の純額	▲ 70	▲ 922	▲ 851	

繰延税金資産の回収可能性

【BTMU単体・MUTB単体】		(億円)	
<回収可能性の前提(ストレスシナリオ)> 5年間合計(07年度～11年度)		BTMU	MUTB
実質業務純益		56,976	11,696
税引前当期純利益		46,336	10,545
調整前課税所得		51,647	8,526
有税引当等+欠損金 (繰延税金資産の対象)		34,901	4,674
07年3月末の繰延税金資産		14,891	2,156

繰延税金資産(純額)の残高と 対Tier1比の推移

【連結】(億円)



*07/3末の自己資本は新自己資本比率規制 (Basel II) にて算出

余白

2006年度決算の概要

部門別収益の状況

資産・資本の状況

参考情報

財務報告に係る内部統制



MUFG

SOX

目的

- ▶財務報告に係る内部統制の整備・維持
- ▶財務報告の信頼性・GAAPを遵守した財務諸表作成の確保
- ▶開示統制・手続の有効性確保

SOX404

- A)発行会社による財務報告に係る内部統制の整備・維持
- B)経営者による財務報告に係る内部統制の有効性に関する評価
- C)監査法人による財務報告に係る内部統制の有効性に関する評価及びB)に対する検証

SOX302

年次報告書について、開示に係る統制と手続の有効性等に関するCEO/CFOの宣誓

SOX906

年次報告書について、米国証券取引法の遵守及び表示の適正に関するCEO/CFOの宣誓

SOX302,906は対応済み
SOX404は2007年3月期決算から対応

J-SOX

目的

同左

金融商品取引法

- ▶2006年6月7日成立
- ▶2009年3月期決算から適用

内容

- ・有価証券報告書の記載内容に係る確認書の提出
(03年3月決算から対応済み)
- ・財務計算に関する書類その他の情報の適正性を確保するための体制について評価した内部統制報告書の提出
- ・内部統制報告書への監査証明

SOX対応にて概ねカバー、
詳細決定後、追加対応実施予定

国別与信残高①

【商業銀行連結】



(単位: US\$ Million)

	貸出金						貸出金		
	07/3末①	短期	中長期	日系	非日系	金融機関	06/3末②	① - ②	増減率
1 タイ	4,596	3,279	1,317	3,258	1,291	46	3,536	1,060	30.0%
2	100.0%	71.3%	28.7%	70.9%	28.1%	1.0%			
3 インドネシア	2,251	1,413	838	1,526	700	25	2,309	▲ 58	▲ 2.5%
4	100.0%	62.8%	37.2%	67.8%	31.1%	1.1%			
5 韓国	2,126	1,174	953	395	1,012	719	1,849	277	15.0%
6	100.0%	55.2%	44.8%	18.6%	47.6%	33.8%			
7 マレーシア	2,101	932	1,168	543	1,374	183	1,924	177	9.2%
8	100.0%	44.4%	55.6%	25.9%	65.4%	8.7%			
9 フィリピン	492	160	333	182	311	0	534	▲ 41	▲ 7.8%
10	100.0%	32.4%	67.6%	36.9%	63.1%	0.0%			
11 (5カ国小計)	11,566	6,957	4,608	5,904	4,689	973	10,151	1,415	13.9%
12	100.0%	60.2%	39.8%	51.0%	40.5%	8.4%			
13 シンガポール	3,153	1,297	1,857	1,283	1,853	17	2,126	1,027	48.3%
14	100.0%	41.1%	58.9%	40.7%	58.8%	0.5%			
15 香港	6,019	2,074	3,945	1,307	4,640	71	5,278	741	14.0%
16	100.0%	34.5%	65.5%	21.7%	77.1%	1.2%			
17 台湾	1,502	1,142	360	616	834	51	1,311	191	14.6%
18	100.0%	76.1%	23.9%	41.0%	55.5%	3.4%			
19 中国	5,799	4,198	1,601	4,364	1,287	148	5,192	607	11.7%
20	100.0%	72.4%	27.6%	75.3%	22.2%	2.5%			
21 インド	1,295	471	823	212	739	344	786	508	64.6%
22	100.0%	36.4%	63.6%	16.4%	57.1%	26.6%			
23 (アジア10カ国合計)	29,334	16,139	13,194	13,687	14,042	1,605	24,845	4,489	18.1%
24	100.0%	55.0%	45.0%	46.7%	47.9%	5.5%			
25 アルゼンチン	18	15	3	16	2	0	23	▲ 5	▲ 22.3%
26	100.0%	81.7%	18.5%	90.6%	9.4%	0.0%			
27 ブラジル	951	84	866	71	844	35	849	101	11.9%
28	100.0%	8.9%	91.1%	7.5%	88.8%	3.7%			
29 メキシコ	939	90	849	205	719	15	853	85	10.0%
30	100.0%	9.6%	90.4%	21.8%	76.6%	1.6%			
31 (中南米3カ国合計)	1,907	189	1,718	293	1,564	50	1,726	182	10.5%
32	100.0%	9.9%	90.1%	15.3%	82.0%	2.6%			
33 ロシア	1,953	151	1,802	89	1,094	770	992	961	96.9%
34	100.0%	7.7%	92.3%	4.5%	56.0%	39.4%			
35 トルコ	718	172	547	60	275	383	862	▲ 144	▲ 16.7%
36	100.0%	23.9%	76.1%	8.4%	38.3%	53.3%			

(注) 連結ベース (含むUBOC) の貸出金のみを借入人の国籍ベースで分けた内部管理上の計数 (含 現地通貨建現地貸・被保証・被担保債権)

国別与信残高②

【信託銀行連結】



(単位：US\$ Million)

	貸出金						貸出金		
	07/3末①	短期	中長期	日系	非日系	金融機関	06/3末②	① - ②	増減率
1 タイ	194	121	73	177	17	-	156	38	24.7%
2	100.0%	62.2%	37.8%	91.2%	8.8%	-			
3 インドネシア	98	81	18	92	6	-	79	19	24.7%
4	100.0%	82.0%	18.0%	93.9%	6.1%	-			
5 韓国	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7 マレーシア	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9 フィリピン	11	-	11	-	11	-	11	▲ 0	▲ 3.0%
10	100.0%	-	100.0%	-	100.0%	-			
11 (5カ国小計)	304	202	102	270	34	-	246	58	23.4%
12	100.0%	66.5%	33.5%	88.9%	11.1%	-			
13 シンガポール	255	214	41	255	-	-	147	108	73.6%
14	100.0%	83.7%	16.3%	100.0%	-	-			
15 香港	146	86	61	146	0	-	89	57	64.5%
16	100.0%	58.6%	41.4%	100.0%	0.0%	-			
17 台湾	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19 中国	4	-	4	2	2	-	4	▲ 0	▲ 6.5%
20	100.0%	-	100.0%	45.3%	54.7%	-			
21 インド	15	-	15	15	-	-	-	15	-
22	100.0%	-	100.0%	100.0%	-	-			
23 (アジア10カ国合計)	724	501	222	688	36	-	486	238	48.9%
24	100.0%	69.3%	30.7%	95.0%	5.0%	-			
25 アルゼンチン	0	0	0	-	0	-	0	▲ 0	▲ 0.7%
26	100.0%	6.5%	93.5%	-	100.0%	-			
27 ブラジル	-	-	-	-	-	-	4	▲ 4	▲ 100.0%
28	-	-	-	-	-	-			
29 メキシコ	2	2	-	-	-	2	5	▲ 3	▲ 63.8%
30	100.0%	100.0%	-	-	-	100.0%			
31 (中南米3カ国合計)	2	2	0	-	0	2	9	▲ 7	▲ 79.0%
32	100.0%	95.0%	5.0%	-	5.4%	94.6%			
33 ロシア	-	-	-	-	-	-	0	▲ 0	▲ 100.0%
34	-	-	-	-	-	-			
35 トルコ	4	-	4	-	4	-	8	▲ 4	▲ 44.4%
36	100.0%	-	100.0%	-	100.0%	-			

(注) 連結ベースの貸出金のみの計数を借入人の国籍ベースで分けた内部管理上の計数 (含 現地通貨建現地貸・被保証・被担保債権)

主な子会社・関連会社

(07/3末現在)



MUFG

【主要な連結子会社】

名称	資本金 又は 出資金 (百万円)	議決権の 所有割合 (%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	996,973	100 (0.06)
三菱UFJ信託銀行株式会社	324,279	100 (-)
三菱UFJ証券株式会社	65,518	62.84 (0.09)
三菱UFJ投信株式会社	2,000	100 (45.00)
UFJニコス株式会社*1	101,712	69.14 (69.14)
株式会社泉州銀行	44,575	68.23 (68.23)
三菱UFJファクター株式会社	2,080	75.77 (75.77)
エム・ユー・フロンティア債権回収株式会社	1,500	79.68 (79.68)
エム・ユー投資顧問株式会社	2,526	100 (100)
株式会社ディーシーカード*1	7,600	44.82 (44.82)
三菱UFJキャピタル株式会社	2,950	40.26 (40.26)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	10,000	46.50 (46.50)
三菱UFJ不動産販売株式会社	300	100 (100)
国際投信投資顧問株式会社	2,680	45.93 (45.93)

名称	資本金 又は 出資金 (百万円)	議決権の 所有割合 (%)
UnionBanCal Corporation	18,470 (156,460 千米ドル)	64.85 (64.85)
BTMU Leasing & Finance, Inc	13,575 (115,000 千米ドル)	100 (100)
Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ (Luxembourg) S.A. *2	4,167 (35,300 千米ドル)	99.99 (99.99)
PT U Finance Indonesia	2,119 (163,000 百万インドネシア ルピア)	85.00 (85.00)
PT UFJ-BRI Finance	715 (55,000 百万インドネシア ルピア)	55.00 (55.00)
BTMU Capital Corporation	3 (29千米ドル)	100 (100)
Mitsubishi UFJ Trust & Banking Corporation (U.S.A.)	10,735 (90,938 千米ドル)	100 (100)
Mitsubishi UFJ Trust International Limited	9,268 (40,000 千英ポンド)	100 (100)
Mitsubishi UFJ Securities International plc	95,150 (410,611 千英ポンド)	100 (100)
Mitsubishi UFJ Securities (HK) Holdings, Limited	12,386 (104,922 千米ドル)	100 (100)
Mitsubishi UFJ Securities (USA), Inc.	8,145 (69,000 千米ドル)	100 (100)

【主要な持分法適用関連会社】

名称	資本金 又は 出資金 (百万円)	議決権の 所有割合 (%)
アコム株式会社	63,832	15.77 (2.58)
ダイヤモンドコンピューターサービス株式会社*3	6,059	39.73 (-)
株式会社中京銀行	31,844	39.80 (39.80)
株式会社モビット	20,000	50.00 (50.00)
株式会社岐阜銀行	18,321	21.47 (21.47)
ダイヤモンドリース株式会社*4	16,440	17.02 (17.02)
UFJセントラルリース株式会社*4	13,324	23.63 (23.63)
三菱UFJメルリッチPB証券株式会社	8,000	50.00 (50.00)
カブドットコム証券株式会社*5	7,195	30.72 (29.70)
東銀リース株式会社	5,050	21.38 (21.38)

*「議決権の所有割合」欄の()内は
子会社による間接所有の割合

*1 UFJニコス(株)は、07年4月1日を合併期日として(株)ディーシーカードと合併し、商号を三菱UFJニコス(株)に変更済

*2 Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ(Luxembourg) S.A.は、07年4月2日付けで、商号をMitsubishi UFJ Global Custody S.A.に変更済

*3 ダイヤモンドコンピューターサービス(株)は、07年4月1日付けで、商号を三菱総研DCS(株)に変更済

*4 ダイヤモンドリース(株)は、07年4月1日を合併期日としてUFJセントラルリース(株)と合併し、商号を三菱UFJリース(株)に変更済

*5 カブドットコム証券(株)は、07年6月の同社株主総会において取締役の過半数をMUFGグループが占めることを通じて、連結子会社化の予定

株式（普通株・優先株）

(07/3末現在)



	普通株式	第八種 優先株式	第十一種 優先株式	第十二種 優先株式	第一回第三種 優先株式
旧発行体		三和銀行	東洋信託銀行	東洋信託銀行	M T F G
07.03.31株式数 (自己株式を除く) (同残高)	10,209,850.48株 (注)	17,700株 (531億円)	1株 (0億円)	33,700株 (337億円)	100,000株 (2,500億円)
発行株式数		200,000株	80,000株	200,000株	100,000株
発行総額		6,000億円	800億円	2,000億円	2,500億円
配当率		0.53%	0.53%	1.15%	2.40%
優先株式取得期間		05.10.1~08.7.31	05.10.1~14.7.31	05.10.1~09.7.31	
3/31現在取得価額		1,693,500円	918,700円	796,000円	
下限取得価額 (期中)		1,693,500円	918,700円	796,000円	
取得価額 修正日(期中)		06.8.1及び07.8.1	06.8.1~13.8.1. の毎年8/1	06.6.30~08.6.30 の毎年6/30	
一斉取得日		2008.8.1	2014.8.1	2009.8.1	
下限取得価額 (一斉)		1,209,700円	802,600円	795,200円	
取得価額上方修正条項		有	無	無	
3/31現在取得価額で 取得した場合の株式数		31,355株	1株	42,336株	
下限取得価額(期中)で 取得した場合の株式数		31,355株	1株	42,336株	
下限取得価額(一斉)で 取得した場合の株式数		43,895株	1株	42,379株	
				合計(自己株式分を除く)	
3/31現在取得価額で取得した場合の全普通株式数					10,283,542.48株
下限取得価額(期中)で取得した場合の全普通株式数					10,283,542.48株
下限取得価額(一斉)で取得した場合の全普通株式数					10,296,125.48株

(注) 普通株式は、自己株式651,793.31株を除いております。なお、6月に予定されている三菱UFJ証券株主総会での承認を前提に、MUFGは三菱UFJ証券の完全子会社化を予定しておりますが、その際に当該自己株式の一部を使用する予定です。詳細は2007年3月28日プレスリリースご参照。

優先出資証券

(07/3末現在)



発行日	1998年3月26日	1999年3月25日	2002年9月26日	2005年8月24日	2006年3月17日
発行体	Tokai Preferred Capital Company L.L.C. (米国)	Sanwa Capital Finance 2 Limited (ケイマン)	UFJ Capital Finance 4 Limited (ケイマン)	MTFG Capital Finance Limited (ケイマン)	MUFG Capital Finance 1 Limited (ケイマン)
発行額	10億米ドル	1,300億円	1,110億円 (うち シリーズA:945億円、シリーズB:115億円、シリーズC:50億円)	1,650億円	23億米ドル
期限	永久 (ただし、2008年6月以降コール可能)	永久 (ただし、2009年7月以降コール可能)	永久 (ただし、シリーズA・Bは2008年1月以降、Cは2010年1月以降コール可能)	永久 (ただし、2011年1月以降コール可能)	永久 (ただし、2016年7月以降コール可能)
ステップアップ	有	無	無	有	有
配当	非累積型・固定／変動配当	非累積型・変動配当	シリーズA・C: 非累積型・変動配当 シリーズB: 非累積型・固定配当	非累積型・固定／変動配当 2016年1月まで 固定2.52% 以降変動金利	非累積型・固定／変動配当 2016年7月まで 固定6.346% 以降変動金利

発行日	2006年3月17日	2006年3月17日	2007年1月19日	2007年1月19日
発行体	MUFG Capital Finance 2 Limited (ケイマン)	MUFG Capital Finance 3 Limited (ケイマン)	MUFG Capital Finance 4 Limited (ケイマン)	MUFG Capital Finance 5 Limited (ケイマン)
発行額	7.5億ユーロ	1,200億円	5億ユーロ	5.5億ポンド
期限	永久 (ただし、2016年7月以降コール可能)	永久 (ただし、2011年7月以降コール可能)	永久 (ただし、2017年1月以降コール可能)	永久 (ただし、2017年1月以降コール可能)
ステップアップ	有	有	有	有
配当	非累積型・固定／変動配当 2016年7月まで 固定4.850% 以降変動金利	非累積型・固定／変動配当 2016年7月まで 固定2.68% 以降変動金利	非累積型・固定／変動配当 2017年1月まで 固定5.271% 以降変動金利	非累積型・固定／変動配当 2017年1月まで 固定6.299% 以降変動金利

株主構成



(%)

	04/3末		05/3末		05/10/1	06/3末	06/9末	07/3末
	MTFG	UFJH	MTFG	UFJH	MUFG	MUFG	MUFG	MUFG
事業法人	23.94	28.55	22.62	25.21	22.54	22.06	21.52	21.25
金融機関	39.42	29.97	37.79	27.22	33.81	34.77	35.61	33.88
証券会社	0.51	0.46	0.93	1.47	1.49	0.63	1.17	1.72
外国人	28.18	31.49	30.35	36.58	35.28	35.72	33.55	33.98
政府・地公体	0.04	0.02	0.04	0.02	0.04	0.03	0.03	0.03
個人その他	7.91	9.51	8.27	9.50	6.84	6.79	8.12	9.11
合計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

注: 本表は単元株(1株)以上のみを対象

但し、自己株式(以下)を除いて計算

06/3末: 503,124株

06/9末: 651,076株

07/3末: 651,793株

2007年度業績予想

【商業銀行・信託銀行】



BTMU (単体)

MUTB (単体)

	2007年度通期			
	中間期		前年度比	前年度比
	前年同期比	前年同期比		
実質 業務純益 ^{*1}	4,550 億円	288 億円	10,250 億円	1,252 億円
経常利益	3,950 億円	366 億円	8,850 億円	504 億円
当期 純利益	2,350 億円	▲1,879 億円	5,300 億円	▲1,392 億円

	2007年度通期			
	中間期		前年度比	前年度比
	前年同期比	前年同期比		
実質 業務純益 ^{*2}	1,100 億円	▲128 億円	2,400 億円	▲343 億円
経常利益	950 億円	▲322 億円	2,100 億円	▲683 億円
当期 純利益	600 億円	▲525 億円	1,250 億円	▲866 億円

*1 一般貸倒引当金繰入前

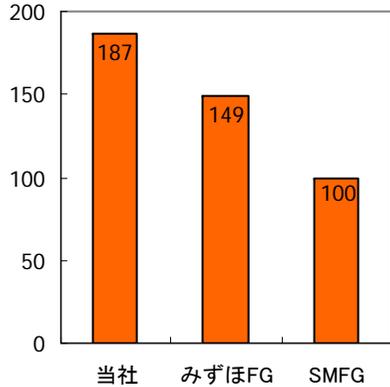
*2 一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前

他グループ比較

(07/3末現在)

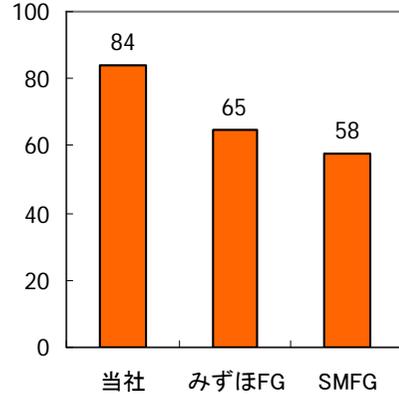


●総資産
(兆円)



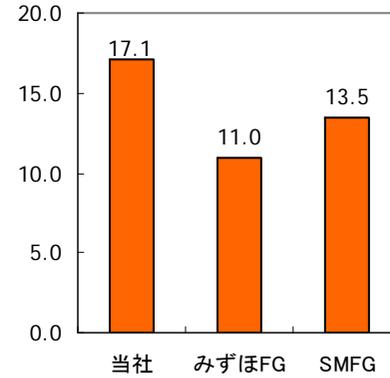
- ・各社決算資料より作成
- ・連結ベース

●貸出残高
(兆円)



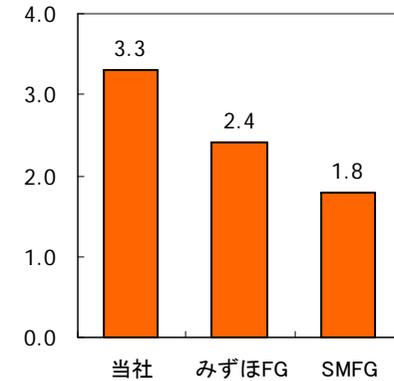
- ・各社決算資料より作成
- ・連結ベース (信託勘定を含めず)

●住宅ローン残高
(兆円)



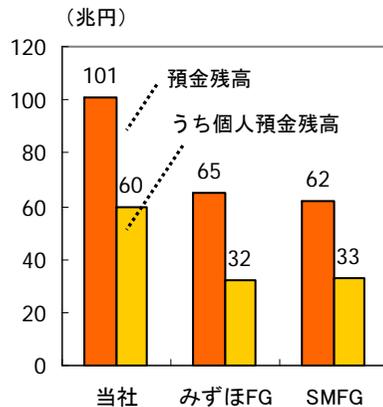
- ・各社決算資料より作成
- ・単体合算 (SMFGはSMBC単体)
- ・銀行勘定信託勘定合算ベース

●有価証券評価差額
(兆円)



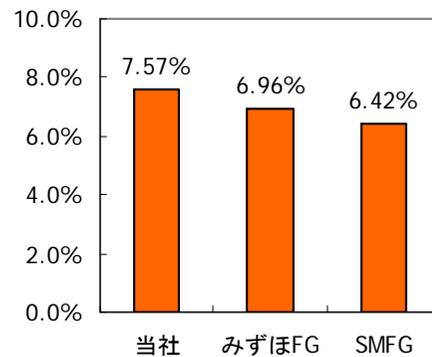
- ・各社決算資料より作成
- ・連結ベース
- ・満期保有目的の債券およびその他有価証券で時価のあるものを対象とした

●預金残高(国内店舗)
(兆円)



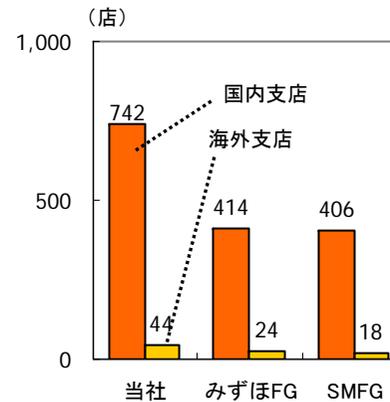
- ・各社決算資料より作成
- ・単体合算 (SMFGはSMBC単体)

●Tier1比率



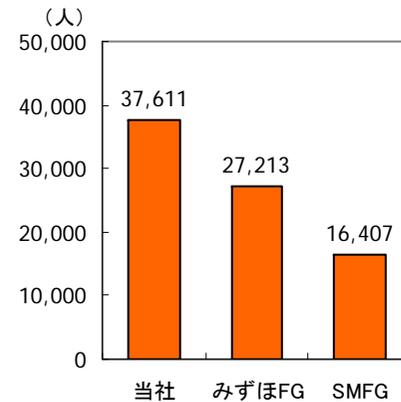
- ・各社決算資料より作成
- ・連結ベース
- ・新自己資本比率規制(Basel II)

●店舗数
(店)



- ・各社決算資料より作成、単体合算ベース (SMFGはSMBC単体)
- ・国内は出張所、代理店等を含めず
- ・海外は現地法人、出張所、駐在員事務所を含めず

●従業員数
(人)



- ・各社決算資料より作成
- ・単体合算ベース (SMFGはSMBC単体)

店舗網

(07/3末現在)



<国内リテール店舗>	銀行	信託	証券	合計
店舗数 ^{*1}	794	95	120	1,009
来店型店舗	672	95	120	887
本・支店	607	77	118	802
出張所・営業所	65	18	2	85
バーチャル店舗等	122	0	0	122

<MUFGプラザ・PBO>

MUFGプラザ	62
プライベート・バンキング・オフィス(PBO)	7

<ATM設置台数>

ATM設置台数	39,992
店舗内ATM設置台数	5,254
店舗外ATM設置台数	3,879
コンビニエンスストアATM設置台数 ^{*2}	30,859

*1 金融庁届出ベース（本・支店・出張所・銀行代理業者・法人営業所）

*2 銀行と信託の単純合算（重複分7,163台）

<法人拠点>	銀行	信託	証券 ^{*4}	合計
拠点数 ^{*3}	329	13	39	381
営業部	4	5	4	13
支店	—	8	35	43
支社	245	—	—	245
法人営業所	28	—	—	28
法人営業推進部	31	—	—	31
法人営業オフィス	21	—	—	21

<海外店舗>	銀行	信託	証券	合計
店舗数	89	10	7	106
支店	39	5	0	44
現地法人 ^{*5}	8	3	5	16
出張所	25	0	0	25
駐在員事務所	17	2	2	21
UBOC店舗数	323	—	—	323

*3 除く公務拠点

*4 証券の投資銀行部は支店に含まれる

*5 現地法人の支店は含まず。商銀現法は除くUNBC。証券は香港持株現法を1箇所として計上